

2023 年度

日野市高齢者見守り支援ネットワーク
事業報告書



2024 年 4 月

日野市健康福祉部高齢福祉課

目次

はじめに「本業務の概要」	1
本業務の目的	1
見守り支援ネットワークを支える人と機関	2
これまでの取組	4
第1章「個別の取組の実施支援」	7
1-1 取組の概要	7
1-2 各取組の実施状況	8
1-2-1 はつらつ・あんしん調査	8
コラム 令和3・4年はつらつ・あんしん調査のまとめ	11
1-2-2 「見守り・声かけ」	12
1-2-3 ふれあいサロン	14
コラム サロンを紹介する動画の作成	19
1-2-4 見守りメール配信	20
1-3 今年度の取組の達成状況と次年度の対応案	26
第2章「より良いネットワークの構築支援」	29
2-1 取組の概要	29
2-2 各取組の実施状況	30
2-2-1 “地域をまたいだ”ふれあい見守り推進員交流会の開催	30
コラム 町田市の見守り活動 ～“町田市みまもりかるた”等～	34
2-2-2 地域の仲間との交流会（地区連絡会等）の開催	35
コラム 神明地区の新たな取組	37
2-3 今年度の取組の達成状況と次年度の対応案	38
第3章「ネットワーク運営に関するその他の支援」	39
3-1 取組の概要	39
3-2 各取組の実施状況	40
3-2-1 検討部会の開催	40
3-2-2 事業PRの実施	44
3-2-3 先進事例の検討調査	48
3-3 今年度の取組の達成状況と次年度の対応案	50

はじめに「本業務の概要」

本業務の目的

(1) 見守り支援ネットワークの基本的な考え方

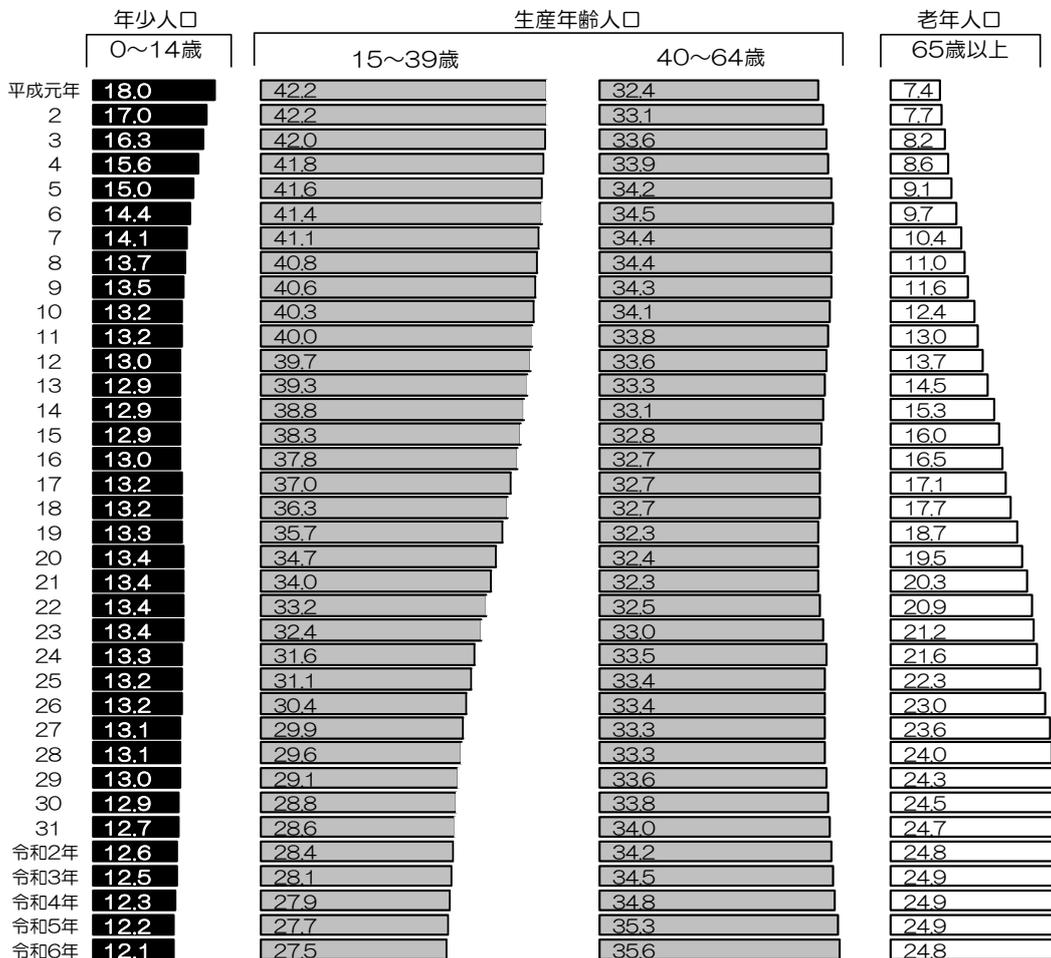
住み慣れた地域で支えあい、安心していきいきと暮らせるまち

日野市の高齢者人口は1人暮らし世帯や高齢者のみ世帯を中心に大きく増加しています(2024(令和6)年1月1日現在46,564人、高齢化率24.8%)。高齢者人口の増加に伴う虚弱や要介護となる恐れのある高齢者の増加、核家族化の進行に伴う家族による介護機能の低下、都市化傾向の進展による近隣コミュニティの結びつきの希薄化などを背景に、孤立死のような不幸な事件も起きています。

高齢者福祉の分野では、特に身近な「地域」で高齢者の生活を支える仕組みづくりが最重要課題となっており、日野市では、こうした社会的にも孤立しがちな高齢者を地域での支えあいを通じ見守り、支援する「高齢者見守り支援ネットワーク」の構築によって「安心していきいきと暮らせるまち」づくりに積極的に取り組んでいます。

(2) 本報告書の位置付け

本報告書は、上記の目的を達成するために2004(平成16)年度から取り組んできた「日野市高齢者見守り支援ネットワーク事業」の2023(令和5)年度の活動内容をまとめたものです。



※日野市男女別年齢別人口統計、各年1月1日現在のデータを集計

見守り支援ネットワークを支える人と機関

日野市の高齢者見守り支援ネットワークの基本型となる「見守り・声かけ」は、以下の方々の協力を得て実施しています。（基本的な考え方や令和5年度の実績等は12-13ページ、その他の関連する取組は30-37ページを参照）

(1) ふれあい見守り推進員



見守りというアンテナを張り、普段の生活の中で気になることを見つけたら地域包括支援センターに連絡するボランティアの方々です。

一部の方は、特に見守りを希望する高齢者＝「対象高齢者」に対して定期的に“見守り（様子見）”や“声かけ（玄関先でのご挨拶等）”を行う活動をしています。

(2) 協力事業所



「ふれあい見守り推進員」と同じアンテナ役として、地域の商店、事務所、医療機関等にも協力をお願いしています。

業務を通じて高齢者と接する中で、その問題や異変を早期に発見して、地域包括支援センターに連絡します。

(3) 公共公益機関：以下の各機関もそれぞれの方法で地域の高齢者を見守っています。

日野警察署



巡回中などに心配な高齢者を見守っています。

日野消防署



防火診断の為の家庭訪問で心配な高齢者を見守っています。

日野郵便局



配達時に郵便がポストに溜まっていないか確認しています。

日野環境保全



可燃ごみのごみ出し確認やごみの個別収集を行っています。

アンテナ役となる人や機関の協力による「見守り・声かけ」に対して、高齢者を含めた地域の多様な人が集まり交流する中で“自然に見守りができている”状態を目指すのが「ふれあいサロン」です。（基本的な考え方や令和5年度の実績等は14-19ページを参照）

(4) ふれあいサロン



ふれあいサロンでは、“いつでも気軽に立ち寄れる「地域のたまり場」”を合言葉に、地域の有志の方々がスタッフとして高齢者等を温かく迎えています。

来訪者と日々接するため、様子の変化が分かります。心配な方がいたら、その場で声をかけたり、地域包括支援センターに相談したり・相談するように勧めたりしています。

地域と行政機関とのパイプ役として、様々な取組に関わっているのが地域の民生委員・児童委員です。

(5) 民生委員・児童委員



民生委員法にもとづいて地域の高齢者からの相談等に応じる役割を委嘱された方々です。

見守り支援ネットワークでは、地域を見守る仲間として「ふれあい見守り推進員」等の相談相手になったり、地域包括支援センターと連携して気になる高齢者への支援策等の検討を行ったりしています。

支援策等の検討を行う際の貴重な材料の1つになっている「はつらつ・あんしん調査」の実施にあたっても多大な協力を得ています。（「はつらつ・あんしん調査」については8-11ページを参照）

見守り支援ネットワークの構築を行政側からリードするのが以下の機関です。

(6) 地域包括支援センター（通称「包括」）



高齢者の皆さまが住み慣れた地域で安心して生活していただくために日野市が民間の医療福祉法人等に委託して設置する総合相談窓口です。

それぞれの担当地域において、「ふれあい見守り推進員」等の協力者の登録～連絡の受付～必要な支援策の手配まで全てをとりまとめるほか、協力者同士の情報交換等の機会となる「地区連絡会」も開催している要の機関です。（「地区連絡会」については35-37ページを参照）

“何かあったら「包括」へ”と覚えてください！

(7) 日野市役所高齢福祉課



高齢者に関する市の施策全般を担う部署です。

地域包括支援センターから各地域の活動状況の報告を受けて、ネットワーク全体に目を配っています。

また、見守り支援ネットワークの作戦本部となる「検討部会」を開催し、地域包括支援センターとともに地域の情報収集や課題の検討、地域への働きかけ等を行っています。（「検討部会」については40-43ページ、「検討部会」の検討を踏まえて実施した取組「“地域をまたいだ”ふれあい見守り推進員交流会」については30-34ページ参照）

これまでの取組

見守り支援ネットワーク事業は、地域のボランティアの方々等の協力を得ながら、以下の通り少しずつ活動を広げてきました。

年度	テーマ	特徴的な取組
H16	○資源・ニーズの把握 ○モデルシステムの構築	<ul style="list-style-type: none"> 市内の高齢者を対象とした「ふれあい訪問調査」や事業所を対象とした“連携可能性調査”を実施し、「現在は元気で自立しているが健康面が不安なひとり暮らし高齢者」などの対象となる高齢者像と具体の支援内容を5つのパターンにとりまとめる
H17	○モデルシステムの試行・評価 ○事業計画づくり	<ul style="list-style-type: none"> 市内4つのモデル地区で19人の対象高齢者、30人のふれあい見守り推進員とともに“見守り”“声かけ”の支援を試行 この成果をもとに、「週1回のさりげない見守り」「月1回程度の玄関先での声かけ」の活動を全市へ2カ年で展開する計画を作成
H18	○地域展開スタート	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年度に設定した目標に従って市内各地で順次ネットワークの立ち上げを行い、市内の半分で活動がスタート 立ち上げにあわせて「見守り支援ネットワークフォーラム」を開催したほか、2回目のふれあい訪問調査も実施（以降毎年実施）
H19	○基本型の全市展開 ○新しい活動の芽生え	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度から始まったネットワークの立ち上げが完了し“見守り”“声かけ”が全市に広がる 活動の中から見えてきた課題に対する新たな展開として「百草ふれあい協議会」による「ふれあいサロン」の開設を準備
H20	○ネットワークの拡大	<ul style="list-style-type: none"> 「ふれあい交流型」活動を継続的に支援するための要綱を策定 5つのパターンの最後の1つ「お世話・お手伝い型」にあたる「ちょこっとお手伝いサービス」を新たに立ち上げる
H21	○活動の継続実施 ○新たな活動方針の検討	<ul style="list-style-type: none"> 対象高齢者や見守り推進員の拡充、サロン「よりみちさくら」の新規開設など既存の活動のフォローアップを実施 立ち上げ当初の計画がおおむね実施されたことを受けて、課題の解消とさらなる活動の充実を目指して新たな活動方針を検討
H22	○ネットワークの次なる展開	<ul style="list-style-type: none"> 既存の活動と並行して、平成21年度に検討した新たな活動方針の1つである「気かけ運動」の企画検討に着手 見守り支援ネットワークのPRの一環として、高齢者月間にあわせて市役所ホールを会場にパネル展を開催
H23	○全市展開から丸5年の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年に“見守り”“声かけ”の全市展開を開始してから丸5年が経過したのを記念して、これまでの活動の振り返りや今後の展開を考えるシンポジウムを開催
H24	○「気かけ運動」の積極的な展開 ○事業PRの展開	<ul style="list-style-type: none"> 「気かけ運動」の展開にあたって、従来の手あげ方式から、こちら積極的に地域を訪問して「勉強会」を開催する方法を試行 「気かけ運動」の展開とあわせて、広報ひのや「市民活動フェア」に参加して、見守り支援ネットワーク全体のPRを積極的に展開
H25	○調査方法の改善 ○「気かけ運動」の継続展開	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークの展開を検討する際の基礎資料の1つとなっていたふれあい訪問調査（はつらつ・あんしん調査）の実施方法を改善 「気かけ運動」の展開を継続しながら、市民活動フェアや「地域かわら版」にて取組のPRを実施

／次ページに続く

年度	テーマ	特徴的な取組
H26	○「気かけ運動」の一般化と拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・「気かけ運動」の狙いや基本的な活動イメージをまとめた「気かけ運動の手引き」等を作成 ・「手引き」と「チラシ」を用いてより多くの地域へ働きかける
H27	○10周年記念シンポジウムの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル地区での試行から10年が経過することを記念して「見守り支援ネットワーク10周年記念シンポジウム」を開催 ・シンポジウムでは、協力者の方々の労いとこれからの見守り支援ネットワークを考えるヒントを得るための講演を実施
H28	○モデル地域への気かけ運動の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特性を整理した上で選定したモデル地区において「気かけ運動」の集中展開を実施 ・見守り支援ネットワークの戦略的な展開や地域からの相談にあたっての検討材料として、高齢化の状況や集会施設の分布、サロン活動等の実施状況を整理
H29	○気かけ運動を入口にした統合型ネットワークへの転換検討	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル地区に対する継続的な支援を実施 ・見守り・声かけの基本的な方法を学び、活動目標を立てる勉強会の開催とそのテキスト「気かけ運動ワークブック」を作成
H30	○統合型ネットワークへの転換に向けた具体的取組の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・働きかけの狙いや対象の明確化 <ul style="list-style-type: none"> －市民を対象にした“気かけ”の意識付け 等 ・メール配信システム等の新たな仕組みの導入の検討 ・既存の取組の見直し、改善の開始
R1 (H31)	○統合型ネットワークの実現に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> ・働きかけの狙いに対応した3ステップに基づく戦略的な事業展開（特にメール配信システムの導入準備や事業PRチラシの更新、ふれあいサロン体験ツアーなど） ・地図を使った課題や対応策の検討（「第2層協議体」を意識したプログラムの実践）
R2	○メール配信システムの運用開始	<ul style="list-style-type: none"> ・メール配信システムの導入・運用開始 ・その他、新型コロナウイルスに対応した活動に対する支援検討 <ul style="list-style-type: none"> －「地域でささえる・つながる」プロジェクト補助金 等
R3	○見守り支援ネットワークの再構築	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り支援ネットワークの位置づけと今後の目標の再定義（“地域の高齢者への支援の入口”を拡大・強化する） ・“相手を特定しない見守り”を行うふれあい見守り推進員の登録を強化する方策の検討
R4	○再構築の方向性を踏まえたネットワークの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の“見守り”に関する説明会の開催 ・ふれあい見守り推進員の手引きの更新 等

第1章「個別の取組の実施支援」

1-1 取組の概要

見守り支援ネットワークは、まず高齢者の生活実態を把握する「はつらつ・あんしん調査」を通じて必要な支援内容を整理した上で、「見守り・声かけ」を出発点にできることから少しずつ活動を広げてきました。現在、主に実施しているのは以下の4つの取組です。

第1章では、これらの取組の概要と令和5年度の実績をまとめます。

▼現在実施している取組



※ この他に、体力低下・怪我・風邪などで普段の生活に困っている方に対して、地域でお手伝いや生活支援のサービスを行う団体^{ごきんじょ}を支援する「互近助サービスちょこすけ」という事業が2022（令和4）年度からスタートしています。

1-2 各取組の実施状況

1-2-1 はつらつ・あんしん調査

(1) 取組の概要

見守り支援ネットワークの主な対象である市内の高齢者に対して、生活の状況や満たすべきニーズを把握するために毎年実施しているのが「はつらつ・あんしん調査」です。本調査は、①高齢者の生活状況を把握し、②高齢者と直接顔をあわせる機会となり地域の中で「誰も知らない」高齢者を減らすことができるため、市の高齢福祉施策・地域福祉力づくりを検討する上で必要不可欠なものとなっています。

2004（平成16）年度に第1回目の調査を実施して以降、2、3年間隔で全ての対象者へ全数調査を継続して実施しています。

この間には、対象者の増加にともなう負担の軽減や類似調査との重複の解消等を目的とした改定をしています。2022（令和4）年度にも調査票の見直しを行い、今回が新しい調査票を使った初めての調査となります。

▼調査の概要

項目	内 容
調査対象	以下の全てに該当する方 ①当該年度の4月1日現在、75歳以上のうち奇数年齢の方 ②介護認定を受けていない方、未申請の方 ③特定の施設に入院・入所等していない方 ④生活保護を受給していない方 ⑤介護予防・生活支援総合事業の対象でない方 ※対象年齢は2022（令和4）年度より65歳以上から75歳以上に変更
調査内容	以下の各項目 ①世帯の状況 ②日中の過ごし方 ③友人・ご近所との交流状況 ④携帯電話やパソコンの利用状況 ⑤耳の聞こえで困っていること ⑥からだや生活の事で困っていること等 ⑦かかりつけの病院の有無 ⑧今後あると良い活動やサービス ⑨見守り支援ネットワークへの登録希望 ⑩ボランティアへの関心 ※下線は今回から新たに加わった質問、下線は選択肢を一部変更した質問
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郵送配布／郵送回収
民生委員の訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郵送による返送が無かった方のお宅を訪問して市への返送を促進
調査結果の提供先	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員 ・ 地域包括支援センター ・ UR都市機構（多摩平の森、高幡台団地の調査結果を提供） ・ 日野消防署、日野警察署、日野市関係各課（緊急時の対応の必要性がある場合） ・ 梵まちづくり研究所（調査内容の集計結果を提供）

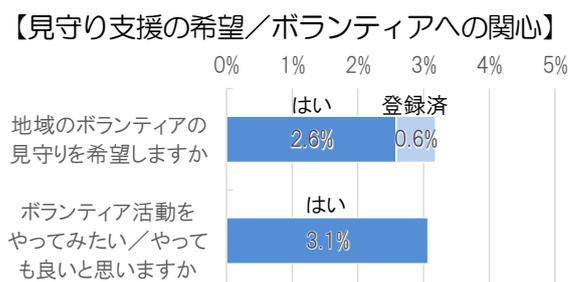
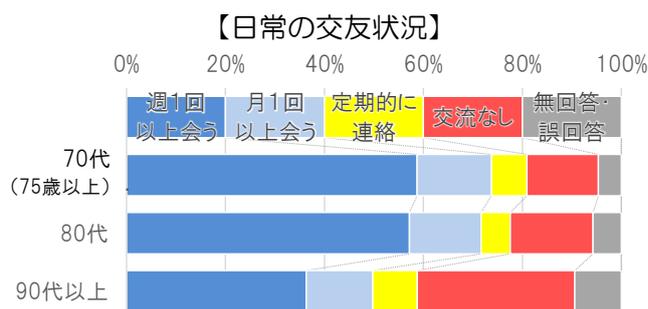
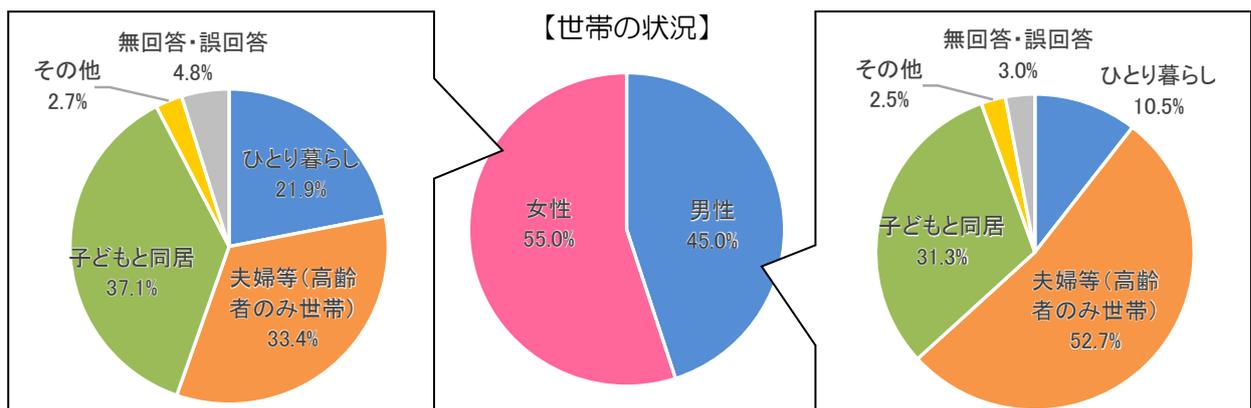
(2) 取組の実績

- ◇ 送付数、回収数は少しずつ増加しており、今回は 8,047 人という多くの方から回答を得ることができました。回収率は 9 割弱という高い水準を維持しています。
- ◇ 回収率が高いのは、一定期間内に返送がなかった方のお宅を民生委員が訪問し、返送を促進していることが大きな要因になっていると考えられます。
- ◇ 令和 4 年度と比較して女性の「ひとり暮らし」が約 5 ポイント減少していますが、それ以前の数値と同程度であり、概ね例年通りと言えます。
- ◇ 質問の仕方を変更した日常の交友状況については、友人や近所の方と「週 1 回以上会う」方が 6 割弱で最も多くなっていますが、特に 90 代以上では「交流なし」という方が 3 割強いらっしゃるようになってきています。
- ◇ 見守りの希望とボランティアの関心はそれぞれ 3.2%（登録済の方を含む）、3.1% となっており、過去数年で最も低い水準となっていた令和 4 年度よりも 1 ポイント前後減少しています。

▼調査票の配布・回収状況

年度	調査対象（75 歳以上）		【参考】以前の調査対象（65 歳以上）	
	送付数	回収数 (回収率)	送付数	回収数 (回収率)
令和 3 年度調査	8,648 人	7,743 人 (89.5%)	18,725 人	13,540 人 (72.3%)
令和 4 年度調査	8,942 人	7,839 人 (87.7%)	—	—
令和 5 年度調査	9,353 人	8,047 人 (86.0%)	—	—

▼調査結果の概要



▼新しい質問項目とその結果

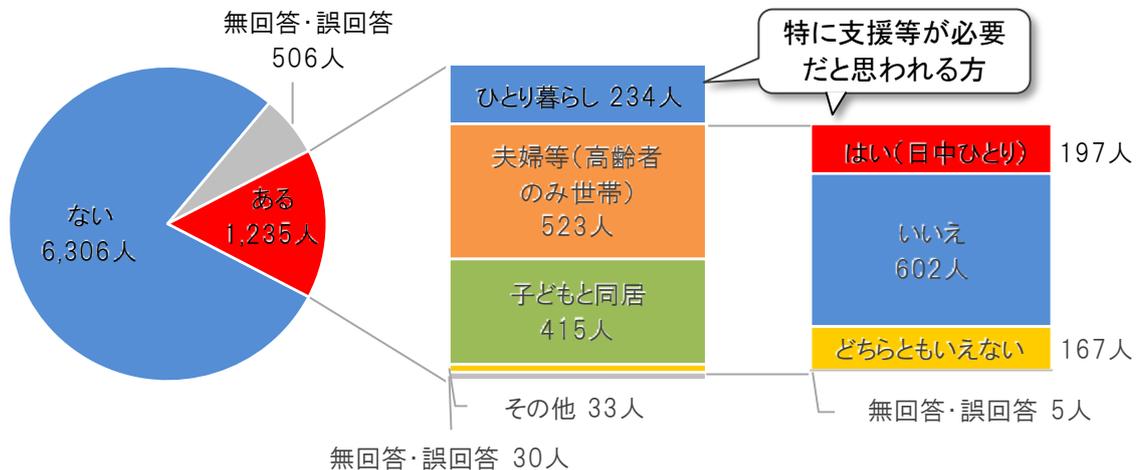
◇ 今回が新しい調査票を使った初めての調査となることから、ここでは、新たに加わった質問についてその結果を掲載します。

「からだや生活の事で困っていること、不安なこと」

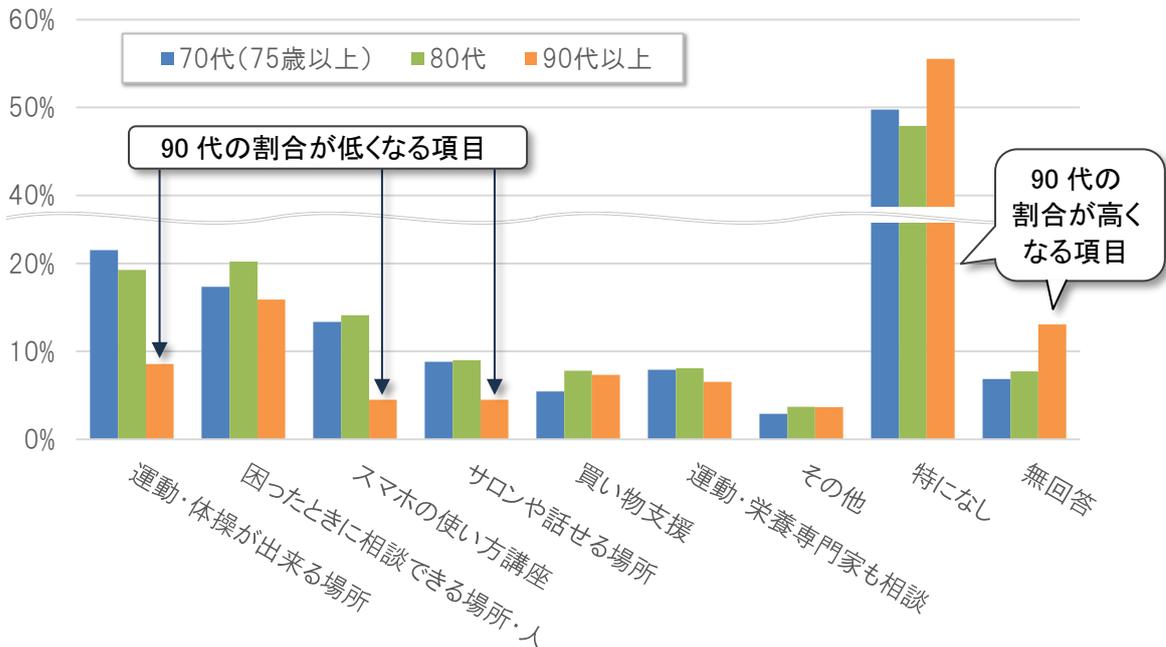
【困っていること等の有無】

【世帯の状況】

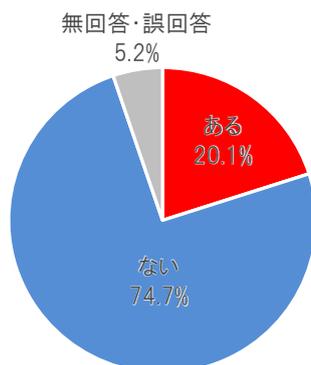
【日中ひとりの状況】



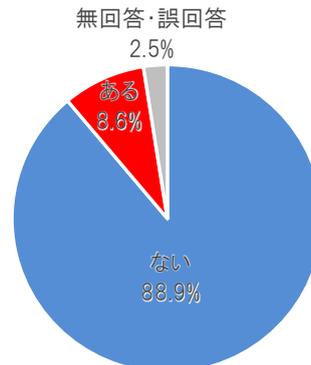
「今後どのような活動やサービスがあると良いでしょうか」



「耳の聞こえで困っていること」



「かかりつけの病院の有無」



コラム 令和3・4年はつらつ・あんしん調査のまとめ

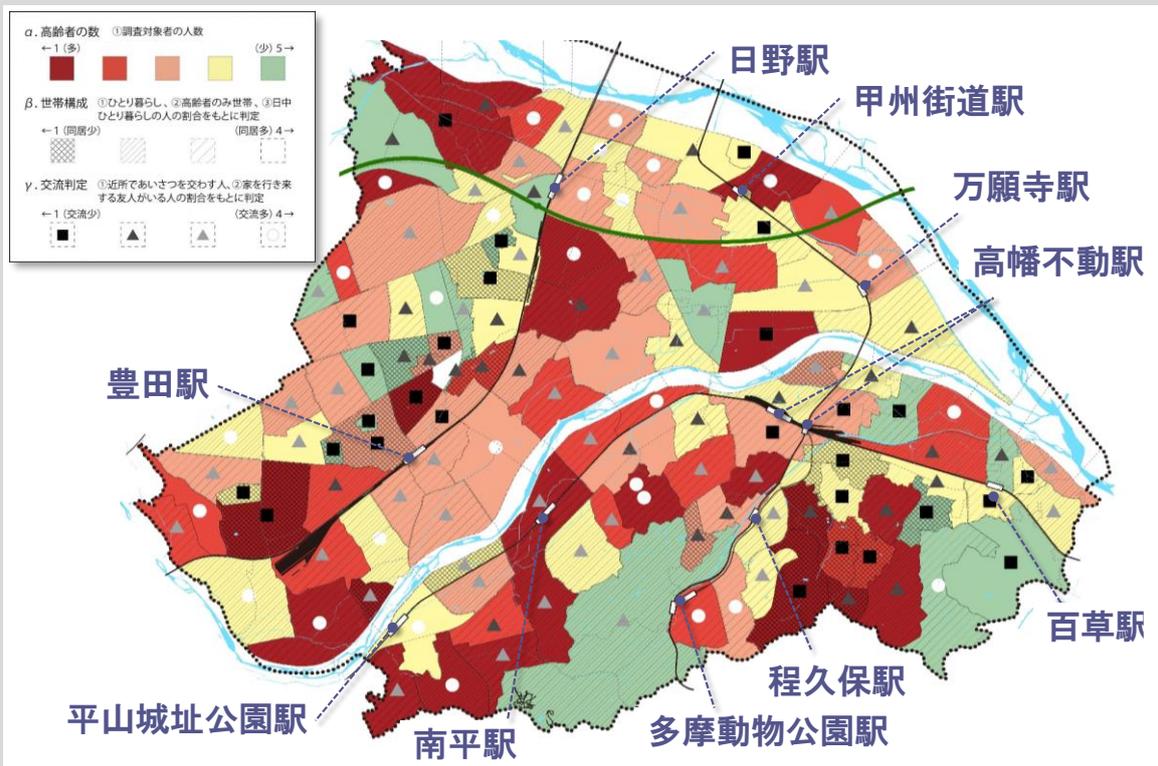
はつらつ・あんしん調査は、個別の調査結果を民生委員や地域包括支援センター等に提供しているほか、2箇年分の結果を民生委員担当地域毎に集計して、地域毎の特徴を把握し、対応を検討する材料としても活用しています。

2023（令和5）年度は、令和3・4年度の調査結果のとりまとめ作業を行いました。下図は、高齢者の数や世帯構成、お付き合いの状況等の傾向を整理したものです。

この内容は、地区連絡会（2-2-2）等の場を通じて民生委員、ふれあい見守り推進員の方々にも情報提供しています。

▼市内の高齢化の特徴

- ◇ 市内でも特に高齢者の数が多い（赤色が濃い■）のは？
⇒まとまって存在するのは丘陵部
⇒川沿いの低地部や台地上にも点在している
- ◇ 市内でも特にひとり暮らしや高齢者のみの世帯が多い（網目が細かい■）のは？
- ◇ 市内でも特に交流が少ない（“■”印）のは？
⇒大規模な団地・マンションが立地する場所がこの両方に該当



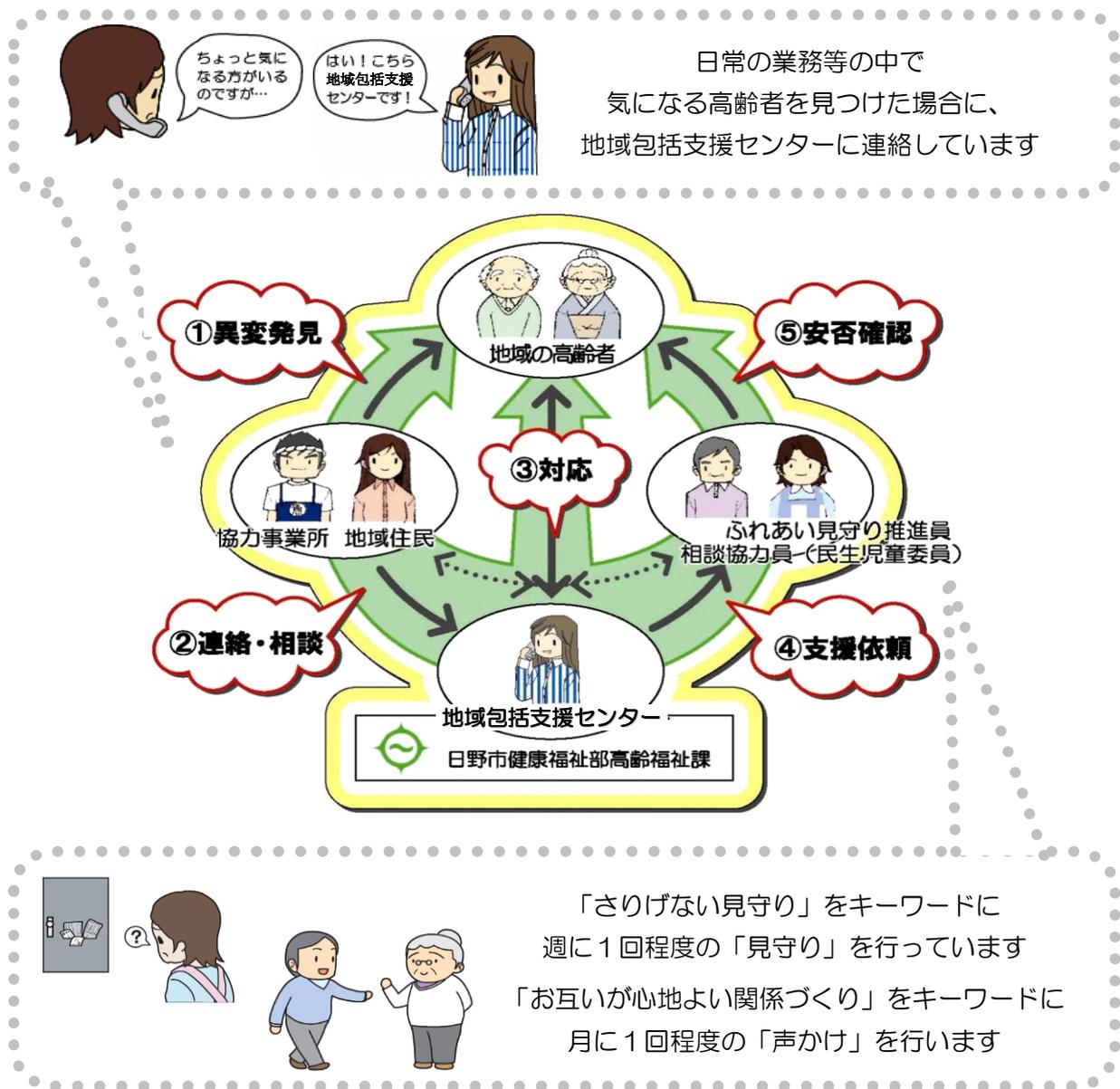
1-2-2 「見守り・声かけ」

(1) 取組の概要

地域の「ふれあい見守り推進員」「協力事業所」を中心に、地域での「見守り」による異変発見から定期的な安否確認の「声かけ」までを繋げる日野市の高齢者見守り支援ネットワークの基本型となる取り組みです。

2005（平成17）年度にモデル地区4地区でスタートしてから約20年に渡って、協力者の輪を広げながら、地域の高齢者の異変発見や安否確認を行っています。

▼取組のイメージ



(2) 取組の実績

- ◇ 対象高齢者とふれあい見守り推進員は、令和4年度と同様に多くの新規登録がありました。
- ◇ 登録廃止がやや少なくなった対象高齢者は6人増の計71人、登録廃止が大きく増加したふれあい見守り推進員は2人減の計165人となっています。
- ◇ 協力事業所については、令和4年度と同様に新規登録を上回る登録廃止あったため、12事業所減の計451事業所となっています。

▼対象高齢者の登録状況

	もぐさ	あさかわ	すてっぴ	あいりん	せせらぎ	多摩川苑	いきいき タウン	すずらん	かわきた	合計
R3	8人	19人	8人	13人	9人	3人	4人	4人	4人	72人
R4	10人	18人	3人	13人	8人	2人	3人	5人	3人	65人
R5	15人	16人	9人	11人	9人	1人	2人	5人	3人	71人
増減	+5人 -0人	+0人 -2人	+6人 -0人	+1人 -3人	+2人 -1人	+0人 -1人	+0人 -1人	+1人 -1人	+0人 -0人	+15人 -9人

▼ふれあい見守り推進員の登録状況

- ◇ 地域にお住まいの協力者の方々です。地域包括支援センターからの依頼を受けて、高齢者宅の訪問や、挨拶などの声かけを無理のない範囲で行っています。

	もぐさ	あさかわ	すてっぴ	あいりん	せせらぎ	多摩川苑	いきいき タウン	すずらん	かわきた	合計
R3	16人	24人	16人	28人	20人	22人	8人	12人	6人	152人
R4	18人	26人	20人	32人	20人	27人	7人	11人	6人	167人
R5	19人	24人	29人	23人	20人	25人	10人	10人	5人	165人
増減	+4人 -3人	+2人 -4人	+9人 -0人	+0人 -9人	+1人 -1人	+2人 -4人	+3人 -0人	+2人 -3人	+0人 -1人	+23人 -25人

▼協力事業所の登録状況

- ◇ 商店、事務所、医療機関等の事業所の方々です。業務を通じて地域の高齢者と接する中で問題や異変を早期した場合に地域包括支援センターへ連絡を行っています。

	もぐさ	あさかわ	すてっぴ	あいりん	せせらぎ	多摩川苑	いきいき タウン	すずらん	かわきた	市外	合計
R3	25所	95所	69所	96所	47所	56所	14所	34所	23所	13所	472所
R4	23所	93所	72所	92所	42所	57所	15所	34所	22所	13所	463所
R5	24所	92所	67所	90所	41所	56所	13所	33所	22所	13所	451所
増減	+2所 -1所	+1所 -2所	+0所 -5所	+0所 -2所	+0所 -1所	+0所 -1所	+0所 -2所	+1所 -2所	+1所 -1所	+0所 -0所	+5所 -17所

▼その他の機関との連携状況

日野警察署、日野消防署、日野郵便局、(株)日野環境保全の4機関にも事業開始当初から協力をいただいています。



「巡回中の見守り」
など



「防火診断のための
家庭訪問」など



「郵便配達時の
ポストの確認」など



「ごみ出し確認」「希望者
への声かけ収集」など

1-2-3 ふれあいサロン

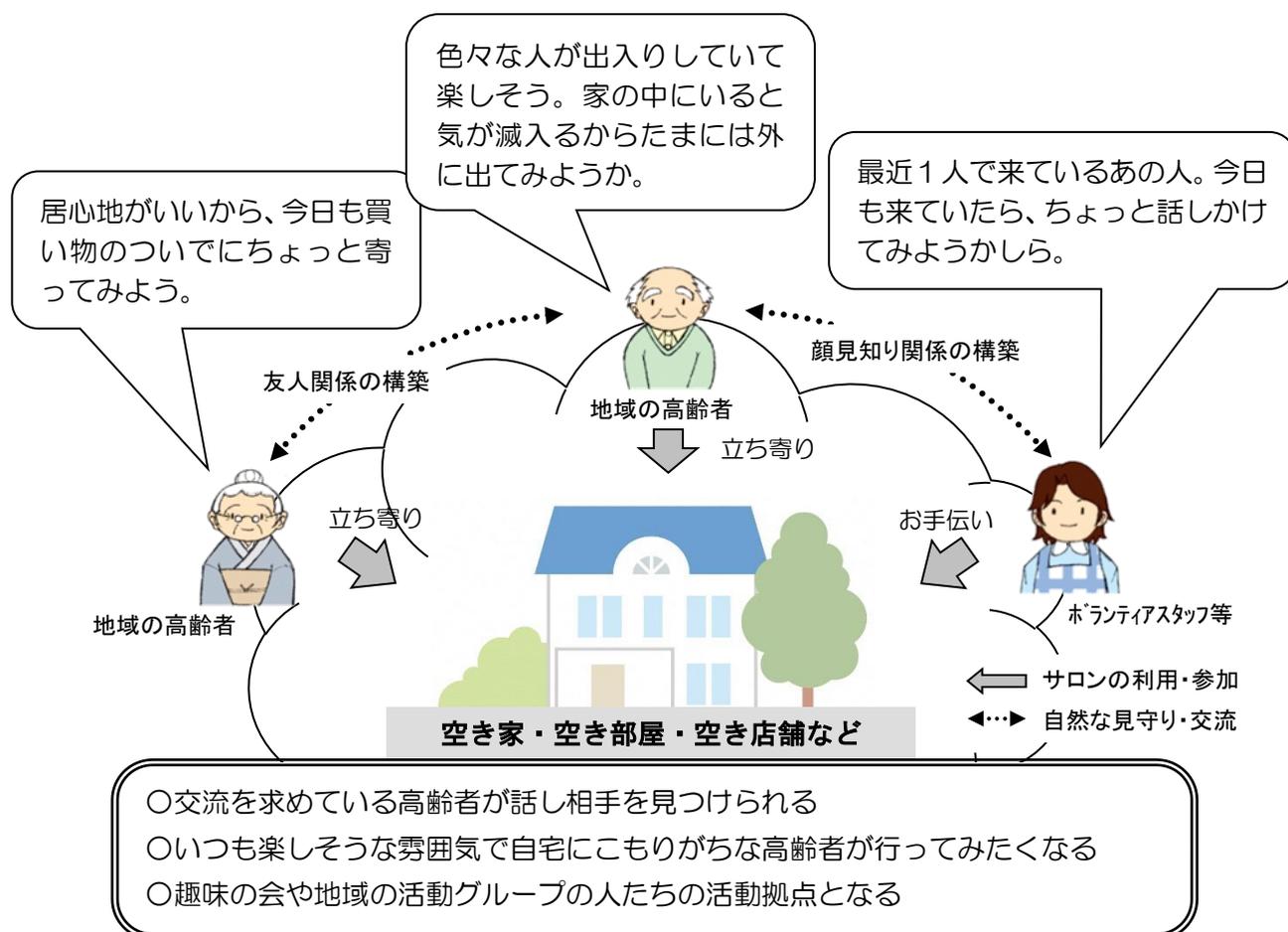
(1) 取組の概要

「見守り・声かけ」の活動を展開する中で、「登録を拒否する方や自宅に引きこもりがちの方への対応が課題」「地域の高齢者が集まれるような場所をつくってはどうか」といった声が出てきました。

「ふれあい交流型」の取り組みは、このような声に応えるべく、いつでも気軽に立ち寄れる「地域のたまり場」となるような場所をつくって、高齢者を含めた地域の多様な人が集まって交流する中で“自然に見守りができている”状態をつくりあげることを目指しています。

2007(平成19)年度から、交流の拠点となるような“場所”とその運営を担う“人”の両面から立ち上げの支援を開始し、2008(平成20)年4月に第1号の「百草団地ふれあいサロン」が正式オープンを迎えました。2009(平成21)年度からは、「日野市高齢者見守り支援ネットワークふれあい交流型実施要綱」にもとづき、高齢者とのふれあいをテーマにした既存の活動についても補助金の交付などの支援を行っています。

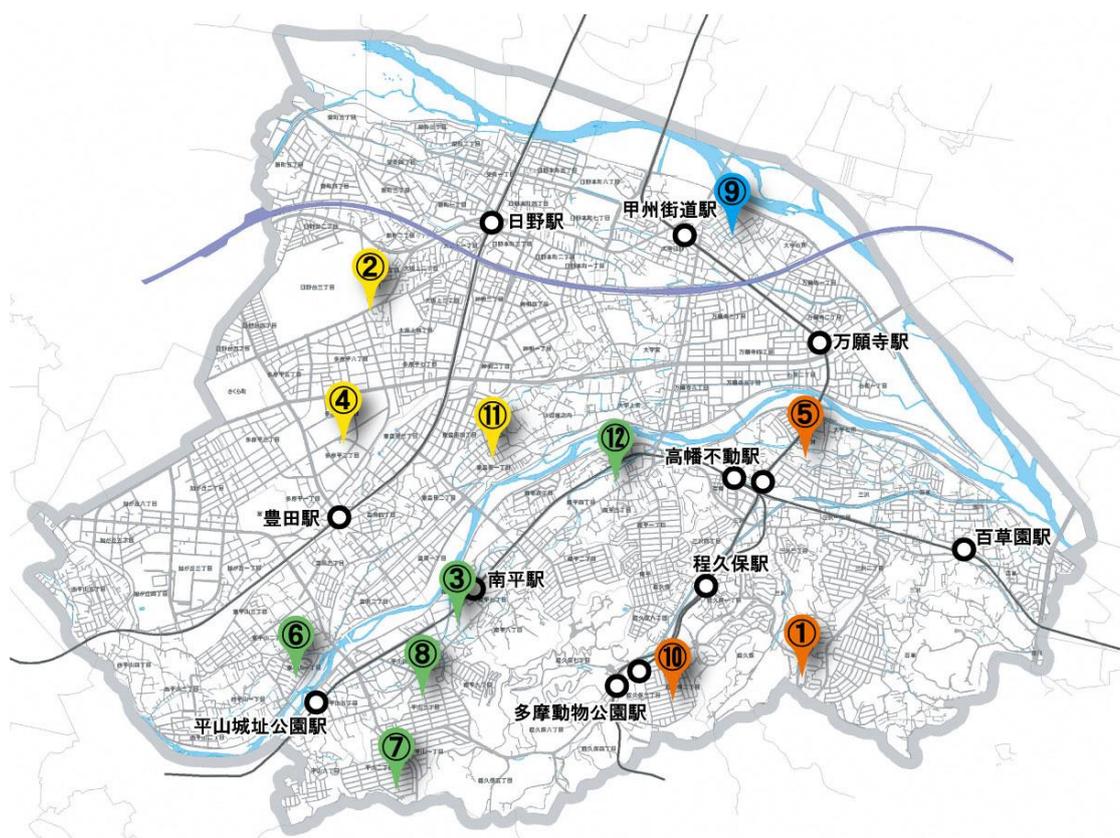
▼取組のイメージ



(2) 取組の実績

- ◇ 新規に開設したサロンはなく、12箇所のサロンが活動しています。
- ◇ 各サロンの年間のオープン日数がコロナ以前と同程度まで増加しています。
- ◇ これにともないほとんどのサロンで来訪者数が増加し、12サロンの合計はのべ約2.2万人となっており、地域の貴重な交流の場として機能しています。
- ◇ 昨年度に新たに開設した「この街八坂サロン(⑫)」の来訪者数、オープン日数はともに大きく増加しており、活動が軌道に乗ってきた様子がうかがえます。
- ◇ 一方で、1日あたりの来訪者数は微増または横ばいというサロンが多く、コロナ以前の密度では活動できていない様子がうかがえます。
- ◇ 「楽しいサロン⑥」「ふれあいサロン万願荘⑨」では、来訪者数が2倍以上増加していますが、1日あたりの来訪者数は減少しており、オープン日数が増えたことで来訪者の来る日が分散している様子がうかがえます。
- ◇ 3月には、各サロンの活動状況に関する情報交換と、サロン活動の中で見守りを行う方法に関する話し合いを狙いとしたサロン交流会を開催しました。

▼ふれあいサロンの位置



※丸番号はふれあいサロンとして支援を開始した順番を表す

▼ふれあい交流拠点の活動状況

◇ 週4日以上オープンなど高齢者の集まりやすさに対する配慮を求める。主に新規に高齢者の居場所づくりに取り組む場合を想定。

	百草団地ふれあいサロン ① (2008年4月開設)	よりみちさくら ④ (2009年6月開設)	南平ふれあいサロン ③ (2001年11月開設) (2008年度より支援開始) (2011年7月リニューアル)
場所	百草 999 百草団地 281号棟 116番	多摩平 2-6-1 多摩平の森さくら集会所内	南平 7-16-14
体制	活動頻度：週 4～5日 常駐スタッフ人数：2～3人	活動頻度：週 4日 常駐スタッフ人数：2人	活動頻度：週 4日 常駐スタッフ人数：1～2人
実績	オープン日：237日 来訪者：のべ 5,604人	オープン日：198日 来訪者：のべ 1,960人	オープン日：187日 来訪者：のべ 2,154人
			

	平山ふれあいサロンひだまり ⑦ (2016年4月開設)	平山ふれあいサロンルレイユ ⑧ (2016年7月開設)	明星地区つながりの家 アムール ⑩ (2018年4月開設)
場所	平山 2-7-1	平山 3-12-1	程久保 2-6-14
体制	活動頻度：週 4日 常駐スタッフ人数：4人	活動頻度：週 4日 常駐スタッフ人数：2人	活動頻度：週 4日 常駐スタッフ人数：1～2人
実績	オープン日：184日 来訪者：のべ 2,205人	オープン日：188日 来訪者：のべ 3,297人	オープン日：約 217日 来訪者：のべ 2,252人
			

※ 各サロンの丸番号は支援開始の順番を表す（15 ページの図と対応）
支援開始の時期はサロン名称の下に「支援開始」または「開設」年月を記載する

▼ふれあい交流活動の活動状況

◇ ふれあい交流拠点の基準には満たないが、自主的な運営により高齢者の交流の場として機能しているような既存の活動を想定。

	談話室ひなたぼっこ (②) (2007年4月移転) (2008年度より支援開始)	南新井ふれあいサロン (⑤) (2010年7月開設)	楽しいサロン (⑥) (2012年1月開設) (2013年度より支援開始)
場所	大坂上 4-20-18 1階	新井 650-2	東平山 1-7-9 平山住宅 9号棟 1階
体制	活動頻度：週3～4日 常駐スタッフ人数：2～3人	活動頻度：週3日 常駐スタッフ人数：2人	活動頻度：週1～2日 常駐スタッフ人数：3～4人
実績	オープン日：209日 来訪者：のべ1,255人	オープン日：144日 来訪者：のべ1,791人	オープン日：76日 来訪者：のべ917人
			

	ふれあいサロン万願荘 (⑨) (2017年6月開設)	お茶にこんね (⑩) (2017年7月開設)	この街八坂サロン (⑫) (2022年4月開設)
場所	日野 844-7 万願荘地区センター	東豊田 1-29-4	南平 4-8-6 南平地区センター
体制	活動頻度：週1日 常駐スタッフ人数：2人	活動頻度：週1日 常駐スタッフ人数：3～4人	活動頻度：週3日 常駐スタッフ人数：4～5人
実績	オープン日：58日 来訪者：のべ678人	オープン日：49日 来訪者：のべ568人	オープン日：137日 来訪者：1,320人
			

※ 各サロンの丸番号は支援開始の順番を表す（15ページの図と対応）

支援開始の時期はサロン名称の下に「支援開始」または「開設」年月を記載する

▼ふれあいサロン交流会

- ◇ ふれあいサロン（高齢福祉課事業）とミニミニサロン（社会福祉協議会事業）という市内でともにサロン活動を行う団体が集まる合同の交流会を開催しました。
- ◇ 当日は、各サロンの活動紹介の前段として、次ページで紹介する動画を使って「この街八坂サロン」の活動を紹介する時間を設けました。
- ◇ その後、「町田市みまもりかるた（34 ページ参照）」を体験し、サロン活動の中で見守りを行う方法について情報交換・意見交換を行いました。

開催日時	3月27日（水）13：30-15：30
開催場所	中央福祉センター集会室
参加者	<u><ふれあいサロン・ミニミニ関係者></u> ：22名 <u><地域包括支援センター></u> ：3名 <u><事務局></u> ：日野市高齢福祉課、日野市社会福祉協議会、委託事業者
プログラム	1. 開会挨拶 2. 見守りかるたの体験 3. サロン活動団体紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・動画を使った「この街八坂サロン」の活動紹介 ・質疑応答 4. 情報交換 <ul style="list-style-type: none"> ・サロン活動、介護予防活動の中で行う見守りについて 5. お知らせ <ul style="list-style-type: none"> ・日野市高齢福祉課より ・社会福祉協議会より



コラム サロンを紹介する動画の作成

ふれあいサロン交流会では、いつも互いの活動内容について情報交換を行っていますが、口頭での説明だけではどうしても分からないことが出てきます。令和4年度の交流会では、当日活動中のサロン1箇所の様子をオンライン中継で紹介するという取組を行いました。令和5年度は1サロンを対象に、事前に取材を行って撮影した内容を約5分の動画にまとめて上映することにしました。

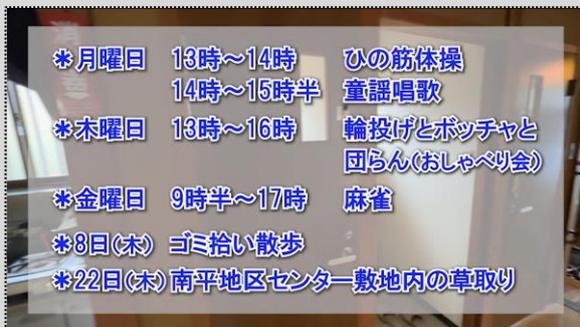
動画の概要は以下の通りです。

今後は、市民向けにこうした動画を作成し、サロンの魅力を伝え「行ってみたい」と思えるような情報発信を行いたいと考えています。

▼作成した動画の概要



サロンへの行き方を実際のルート・目印を使って紹介



サロンの活動内容と実際の活動の様子を紹介



その他のサロンの様子や参加者の声を紹介

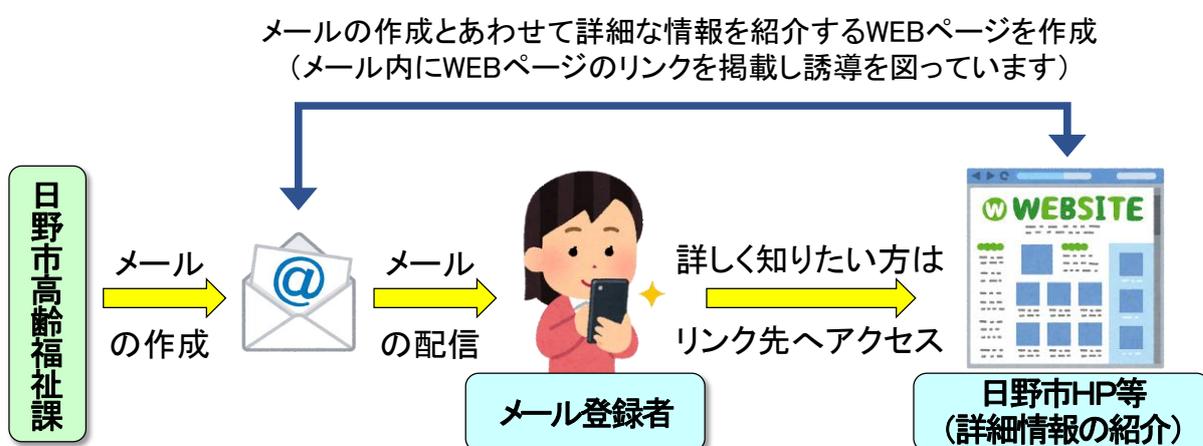
1-2-4 見守りメール配信

(1) 取組の概要

日野市では認知症の高齢者が行方不明になった際に、対象の方の情報をメールで発信して早期の発見・保護につなげる「行方不明者情報メール配信サービス」を行っています。見守り支援ネットワークでは、この登録者に対して、見守りのコツ等の情報発信を行っています。「ふれあい見守り推進員」等よりも簡単に登録ができる仕組みを通じて、地域の見守りに関する意識啓発が狙いです。

実際のメールの配信は2020（令和2）年度から始まっています。

▼「メール配信」のイメージ



※メール配信には、日野市行方不明者情報メール配信サービスと同一のシステムを活用しているため、メール登録者には見守り関連情報の他に、行方不明者情報も届きます。(どちらかのサービスの受取を拒否している方を除く)

(2) 取組の実績

令和5年度は、以下の合計6通のメールを配信しました。

このうち令和4年度から取り上げている見守りワンポイントアドバイスでは、見守りのコツ等を1分程度の動画にまとめ、分かりやすくかつ詳しい情報発信に努めています。新たに企画した熱中症、ヒートショックといった高齢者の体調トラブルを取り上げるメールでは、周りの方に注意喚起をしやすいように、動画ではなく印刷・配布ができるチラシと一緒に添付しています。

各メールには、見守り支援ネットワークの案内や、取り上げて欲しいテーマ等を投稿できるWEBフォームのリンクを掲載しています。

▼メールの内容と配信スケジュール

日程	テーマ	内容
6/30号	“あれっ”と思った時の対応 見守りワンポイントアドバイス②	<ul style="list-style-type: none"> • あれっと思った時の連絡の仕方 (基本の連絡先、緊急時は、外出先では) ※動画「“あれっ”と思った時の対応」
8月号	熱中症にご注意ください	<ul style="list-style-type: none"> • こんな症状が出たら要注意 • 症状が出た場合の応急処置 • 外出時は市内の涼み処へ ※添付ファイル「熱中症に注意!! (チラシ)」
9/5号	行方不明者を見つける手がかり 見守りワンポイントアドバイス③	<ul style="list-style-type: none"> • 認知症月間の紹介 • 行方不明者を見つける手がかり ※動画「行方不明者を見つける手がかり」
9/19号	心配な方への声のかけ方 見守りワンポイントアドバイス④	<ul style="list-style-type: none"> • 心配な方への声のかけ方 (基本的なやり方、面識のない相手には、声をかける勇気が欲しい方は) ※動画「心配な方への声のかけ方」
11/15号	高齢者の詐欺被害を防ぐ見守り 見守りワンポイントアドバイス⑤	<ul style="list-style-type: none"> • 市内で被害が多い詐欺被害の手口 • 地域の方を見守るポイント ※動画「高齢者の詐欺被害を防ぐ見守りのポイント」
2/16号	ヒートショックにご注意ください	<ul style="list-style-type: none"> • ヒートショックとは • 安全に入浴するためのポイント ※添付ファイル「ヒートショックにご注意を (チラシ)」

▼見守りメール配信 8月号の概要

配信時期	2023年8月28日
件名	【見守り関連情報】2023年8月号 熱中症にご注意ください

▼見守りメール配信 8月号の内容

暑い日が続いています。熱中症に注意しましょう！

＝こんな症状が出たら要注意

めまい、立ちくらみ、大汗、筋肉のこむら返り

＝症状が出た場合の応急処置

①涼しい場所へ移動：エアコンが効いた室内や風通しのよい日陰など

②体を冷やす：特に、首の周り、脇の下、足の付け根など

③水分補給：水分・塩分、スポーツドリンクなど

※自力で水が飲めない、応答がおかしい時は救急車を呼びましょう！

＝外出時は市内の涼み処へ

涼み処「クールスポット」とは：外出時にちょっと立ち寄って涼める施設。公共施設のほか、コンビニや薬局にご協力いただいています。

【添付ファイル】熱中症に注意！！

<https://r18.smp.ne.jp/file/1Cgr4DH7ci0D11MGikOfMokl/f003376112>

【出典】熱中症予防のための情報・資料サイト

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/pdf/necchushoyobou/necchushoyobou.pdf

【参考】高齢者のための熱中症対策

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/pdf/heatillness_leaflet_senior_2022.pdf

＝お知らせ等＝

★見守り活動の担い手を募集しています（見守り支援ネットワークのご案内）

<https://www.city.hino.lg.jp/fukushi/kourei/torikumi/1003577.html>

★他にに取り上げて欲しいテーマがある方はこちらまで（ご意見ご感想も募集中）

⇒WEB フォーム：

<https://forms.gle/iJRMZ2y2vfvN5VRX7>

⇒FAX：042-583-4198

日野市役所 健康福祉部 高齢福祉課
在宅支援係

★見守り関連情報の配信停止はこちら

<https://r18.smp.ne.jp/o/Pg/18137874/aIH7k56bKDD9/out?stop=lioh>

▼熱中症の注意喚起を呼びかけるチラシのイメージ

【夏の見守り関連情報】熱中症 に注意!!

暑い日が続いています。以下を参考に自分や周りの方の体調の変化に気をつけましょう!

熱中症とは

高温多湿な環境下で体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を言います。

- 部屋の中や夜間でも発症します!
- 高齢者や子ども、障害のある方は特に注意が必要です!



こんな症状が出たら要注意

めまい、立ちくらみ、大汗、こむら返り

- 症状が進むと頭痛や吐き気、全身のだるさが生じます。
- さらにひどくなると意識障害（意識がもうろうとする）や全身のけいれんなどが生じ、場合によっては死亡することもあります。



熱中症予防のポイント

- ① 室内ではエアコンを上手に使う
 - 温度や湿度を確認し温度調節するように心がけましょう!
(例えば、昼夜問わず室温 28℃を超える場合は使用する)
- ② 外出時は市内の涼み処 **クールスポット** へ
 - 外出時にちょっと立ち寄って涼める施設。公共施設のほか、コンビニや薬局にご協力いただいています。
- ③ 喉が渇いていなくても水分を補給する
 - 1日あたり 1.2 リットル (コップ約 6 杯) が目安です。



心配な症状が出た場合の応急処置

- ① 涼しい場所へ移動する
 - エアコンが効いた室内や風通しのよい日陰に避難!
- ② 衣服をゆるめ、からだを冷やす
 - 特に、首の周り、脇の下、足の付け根などを冷やす。
- ③ 水分・塩分、スポーツドリンクなどを補給する
 - 「経口補水液」が用意できればなお◎。



**自力で水が飲めない、応答がおかしい時は、
ためらわずに救急車を呼びましょう!**

【出典】厚生労働省の熱中症予防のための情報・資料サイト

- 熱中症について詳細な情報を知りたいという方はこちらをご覧ください。
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/index.html
- 特に以下のチラシに情報がコンパクトにまとまっています。
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/pdf/necchushoyobou/necchushoyobou.pdf

【参考】高齢者のための熱中症対策

- 熱中症患者のおよそ半数は 65 歳以上の高齢者です。周りに心配な方がいる場合は、厚生労働省が作成したチラシも活用をご検討ください。
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/pdf/heatillness_leaflet_senior_2022.pdf

▼見守りメール配信9月 19 日号の概要

配信時期	2023年9月19日
内 容	【見守り関連情報】2023.09.19号 ～見守りワンポイントアドバイス④～

▼見守りメール配信9月 19 日号の内容（HTML 版※）

【見守り関連情報】2023.9.19号

～見守りワンポイントアドバイス④～

時には声をかけることも考えましょう！

地域の高齢者を見守る際に「何か違和感を覚えたら連絡してください」とお願いしていますが、様子が気になる方には「その場で声をかける」のが良いこともあります。そんな時、勇気を出して声かけられるように、以下の動画を是非ご覧ください。

▼心配な方への声のかけ方 (画像をクリックすると動画が再生されます)



特に、認知症の方に声をかける際には、3つの“ない”（驚かせない、急がせない、自尊心を傷つけない）が重要だと言われています。以下のWebサイトでは、認知症の方を地域で支えるポイントを確認することができます（声かけのポイントはQ12の「説明を読む」をご覧ください）。

⇒[認知症サポーターキャラバンHP](#)

▼9月は「認知症を知る月間」です

日野市では9月に日野市認知症を知る月間を開催しています。詳細はこちらをご確認ください。

⇒[認知症を知る月間（日野市公式HP）](#)

★他にアドバイスが欲しいテーマがある方はこちらまで（メール配信に関するご意見ご感想もお寄せください）

⇒[こちら（WEBフォームが開きます）](#)

★高齢福祉課では見守り活動の担い手を募集しています

⇒[高齢者見守り支援ネットワークのご案内（日野市公式HP）](#)

日野市役所 健康福祉部 高齢福祉課
在宅支援係 見守り支援ネットワーク事業担当
TEL : 042-514-8496 Mail : kourei_zaitaku@city.hino.lg.jp

★本メールの配信停止は[こちら](#)から

※PC やスマートフォン、タブレット以外の端末でメールを受信する方向けに、8月号と同様のテキスト形式のメールも配信しています。

▼「心配な方への声のかけ方」を紹介する動画のイメージ（左から右へ）

**心配な方を見つけた場合に
声をかける方法**

日野市高齢者見守り支援ネットワーク

作成：日野市高齢福祉課

①基本的なやり方は

こんにちは
何か、お困りですか

こうした普通の言葉を優しくかける

①基本的なやり方は

その後は相手の反応をうかがいながら

①基本的なやり方は

実は

困りごとはないか等をゆっくり確認する

②面識がない相手には

急に声をかけると驚かせてしまうので

②面識がない相手には

相手の視野に入ったら声をかける

②面識がない相手には

深呼吸と笑顔を忘れずに

③声をかける勇気が欲しい方は

日野編

飴を持ち歩いて配るのも1つの方法

③声をかける勇気が欲しい方は

犬の散歩や家の前の掃除などは

③声をかける勇気が欲しい方は

Hi!

相手の方が話しかけるきっかけになる

1-3 今年度の取組の達成状況と次年度の対応案

1-2-1から1-2-4の取組毎に令和5年度の成果と課題、今後の対応案を以下の通り整理しました。

▼はつらつ・あんしん調査の成果・課題・対応案

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・9,353 人の対象者に調査票を配布して、8,047 人という多くの方から回答を得ることができた。 ・調査票の見直しを行って初めての調査となりましたが、回収率は9割弱という高い水準を維持しており、市内の高齢者の生活実態を把握する有効な方法となっている。 ・令和3年度、4年度の調査結果を活用して、地域の高齢化の特徴等をまとめた資料を作成し、民生委員、ふれあい見守り推進員へ情報提供を行った。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・調査票を見直したことで回収率が大きく低下するようなことはなかったが、用紙がA4判からA3判に変わったことで、「切り取りが必要か」等の問い合わせがあった。 ・質問を一部変更したことで、地域の高齢化の特徴等（上記）をこれまでと同じように整理することができなくなるため、新しい整理・分析方法を検討する必要がある。
対応案	<ul style="list-style-type: none"> ・市民からの問い合わせの内容を踏まえて調査票の一部改善を図ります。 ・今回回収した回答の傾向を分析し、質問の一部変更を踏まえた見守り事業により役立つ情報の整理を行います。

▼「見守り・声かけ」の成果・課題・対応案

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に引き続き、見守り支援ネットワークへの新規登録が多くありました。対象高齢者は6人増加している。 ・“地域をまたいだ”ふれあい見守り推進員交流会（2-2-1）を開催し、ふれあい見守り推進員の活動のポイント（特に対象を特定しない見守りについて）等を紹介することができた。また、この取組を通じて「辞めようと思っていた」という方に活動を続けていただくことができた。 ・はつらつ・あんしん調査に見守り支援ネットワークのチラシ等を同封し、事業のPRを行った。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・対象高齢者とふれあい見守り推進員は、令和4年度と同様に多くの新規登録があった一方、長く活動を続けていた方を中心に登録廃止も多くあります。特にふれあい見守り推進員では登録者数が減少しており、新しい協力者の獲得に引き続き取り組む必要がある。 ・“相手を特定しない見守り”について積極的に情報提供を行ったが、まだ「今の活動のやり方で良いか不安」「このお宅を見守って欲しいという情報が欲しい」という方が一定数いらっしゃるに分かっている。 ・はつらつ・あんしん調査では、見守りを希望する方、ボランティアをやってもよいという方がともに少なくなっている。
対応案	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい協力者の獲得と既存の協力者に対する働きかけを、継続的に実施していきます。（詳細は2-3参照） ・特に見守りを希望する方、ボランティアをやってもよいという方が減少している状況を踏まえて、既存の協力者の中で特に「もっとできる」「もっと積極的に活動したい」という方が活動しやすくなるようなサポートを検討します。（詳細は2-3参照）

▼ふれあいサロンの成果・課題・対応案

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・全 12 箇所体制で年間のべ約 2.2 万人の来訪者を迎えることができた。 ・各サロンの年間オープン日数が増加し、昨年度は少し活動を控えていたサロンを含めて、コロナ以前と同程度まで回復した。 ・昨年度に新たに開設した「この街八坂サロン (⑫)」の来訪者数、オープン日数はともに大きく増加しており、活動が軌道に乗ってきた様子がうかがえる。 ・毎年開催しているサロン交流会では、同サロンの様子を紹介する動画を上映し、参加者から好評を得ることができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・オープン日数がコロナ以前と同程度まで回復した一方、1日あたりの来訪者数は微増又は横ばいというサロンが多く、地域の高齢者がまだ不安を感じている あるいは コロナ禍で来訪者の世代交代がうまく進んでいない状況があることが推察される。 ・まだふれあいサロンがない地域にもふれあい交流の必要性が高い場所がある。
対応案	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で「サロンを始めたい」という声がいくつかあることから、こうした方々の活動が新しいふれあいサロンの開設につながるよう具体的な支援を行います。 ・サロンに怖くて行けなくなっている方、コロナ禍でサロンのことを知る機会がなかった方がサロンに来訪するよう、サロンの様子を紹介するチラシや動画を作成します。

▼見守りメール配信の成果・課題・対応案

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に用意していたコンテンツを含めて、計画的に合計6通のメールを配信した。 ・熱中症、ヒートショックといった高齢者の体調トラブルに関する注意喚起を行う新しいパターンのメールも配信した。 ・その中では、動画ではなく印刷・配布ができるチラシと一緒に作成し、周りの方に注意喚起をしやすいように工夫している。 ・年度末に作成したニュースレター (3-2-2) では、メール配信について関係者に改めて紹介する記事を掲載した。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・メールの中で紹介している見守りワンポイントアドバイスの動画の視聴数が少なく、詳細な内容までは伝え切れていない恐れがある。 ・配信するメールには毎回感想や要望等を送信できる WEB フォームの URL を掲載していますが、これを通じて登録者の反応を確認することができていない。
対応案	<ul style="list-style-type: none"> ・見守りに関するワンポイントアドバイスは一通り実施できたことから、以下のような新しいコンテンツでメール配信に対する関心を高めていくことを検討します。 <ul style="list-style-type: none"> ― 季節にあわせた情報発信 (高齢者の体調トラブルに関する注意喚起の強化) ― 市内外で行われている見守り活動の紹介 ・動画や WEB フォームへのアクセス状況を踏まえて、今後のメール配信ではメール本文だけで簡潔に伝わるような内容となるように努めます。

第2章「より良いネットワークの構築支援」

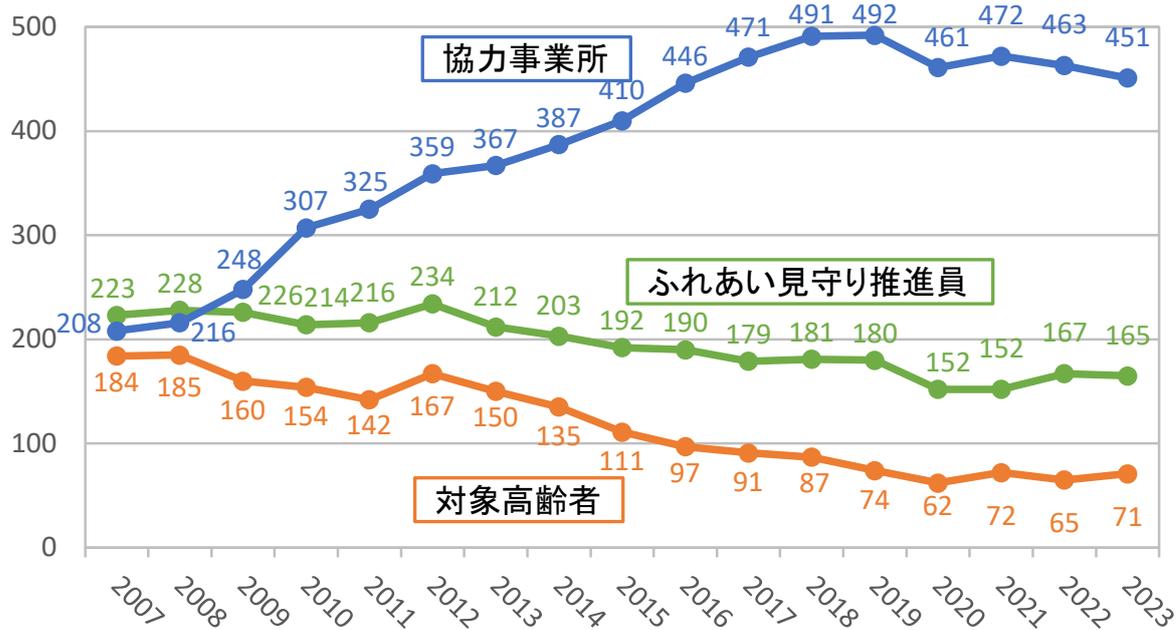
2-1 取組の概要

見守り支援ネットワークでは、前章で報告した各取組の実行・改善や、2010（平成22）年度より企画検討をはじめた“気かけ”運動のさらなる周知・普及、見守り支援ネットワーク全体に関する市民啓発など、地域の中で高齢者を見守り、支える仕組みや体制づくりに取り組んできました。

近年は、対象高齢者やふれあい見守り推進員等の協力者の減少が続いている状況を踏まえて、“見守り支援ネットワークの再構築”に取り組んでおり、『“相手を特定しない見守り”を行うふれあい見守り推進員の登録を強化する』取組を進めています。

2022（令和4）年度は、「ご近所の様子が気になる方」や「気軽にできるボランティアを探している方」をターゲットに、地域の“見守り”に関する説明会を開催したことから、2023（令和5）年度は、既にふれあい見守り推進員として登録・活動している方々に向けた働きかけを重点的に実施しました。

▼登録数の推移【参考】



2-2 各取組の実施状況

2-2-1 “地域をまたいだ”ふれあい見守り推進員交流会の開催

(1) 取組の概要

ふれあい見守り推進員の方々に以下のような機会を提供することを目指して、“地域をまたいだ”交流会を開催しました。

- ◇ “町田市みまもりかるた”の体験等を通じてふれあい見守り推進員の役割や見守り方法を楽しく・分かりやすく伝える
- ◇ 他の地域のふれあい見守り推進員と交流や情報交換ができる

開催にあたって、ふれあい見守り推進員の方々へ楽しく・分かりやすい情報提供を行うために、どのような情報をどのように伝えるのが良いかを検討しました。最終的に、事例調査(3-2-3)の結果を踏まえて、町田市の高齢者支援センター(＝地域包括支援センター)から保坂さんと小貴さんのお2人をゲストに招き、町田市の見守り活動の紹介や“町田市みまもりかるた”の体験をしていただきました。

▼実施内容

項目	内 容		
名 称	“地域をまたいだ”ふれあい見守り推進員交流会		
開催日時	12月13日(水)14時半～16時半	12月21日(木)14時半～16時半	
開催場所	日野市役所 505 会議室	福祉支援センター 第一会議室	
出席者	【推進員】31名 【ゲスト】2名(町田市高齢者支援センター) 【包 括】9名 【社 協】1名 【事務局】6名	【推進員】21名 【ゲスト】2名(町田市高齢者支援センター) 【包 括】5名 【社 協】1名 【事務局】4名	
プログラム	①情報提供	②交流タイム(前半)	③交流タイム(後半)
	冒頭で、交流会の趣旨説明とふれあい見守り推進員の活動に役立つ情報提供を行いました。	町田市からお呼びしたゲストの方の進行で、“みまもりかるた”の体験等を行いました。	包括職員の方々の進行で、参加者同士がそれぞれの地域や活動に関する情報交換を行いました。
			

(2) 取組の実績

当日は、普段の連絡会には「あまり参加していない」という方や「初めて参加した」という方にも多く参加いただきました。全体では50名超の推進員さんが参加し、参加者からは好評を得ることができました。

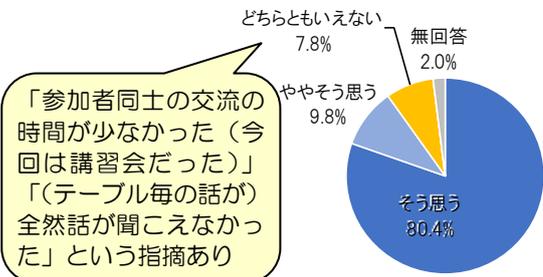
「活動を辞めるつもりで参加したが、自治会で行っている防犯活動の延長で取り組みれば良いのだと分かり、もう少し活動を続けてみようと思う。来てとても良かった。」というコメントもいただきました。

▼参加者の声_①交流会に参加して良かったか

- ◇ 約9割の方がイベントに参加して良かった（「そう思う」「ややそう思う」と回答
- ◇ 普段の連絡会に「毎回参加している」という方がやや評価が高い傾向

■回答者数(N=51)

選択肢	回答数	構成比
そう思う	41	80.4%
ややそう思う	5	9.8%
どちらともいえない	4	7.8%
あまりそう思わない	0	0.0%
そう思わない	0	0.0%
無回答	1	2.0%
合計	51	100.0%

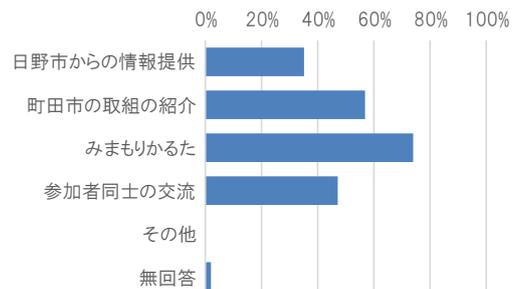


▼参加者の声_②来て良かったと思うプログラム

- ◇ 特にゲストの進行で実施した「みまもりかるた」の体験が好評
- ◇ 町田市の「キーホルダー」やかるたを活用した自治会への働きかけ等の取組を評価する声や、参加者同士の交流の中で「地域の様子が分かった」「他の地域の方の話が聞けた」ことを評価する声も多い

■回答者数(N=51)

選択肢	回答数	構成比
日野市からの情報提供	18	35.3%
町田市の取組の紹介	29	56.9%
みまもりかるた	38	74.5%
参加者同士の交流	24	47.1%
その他	0	0.0%
無回答	1	2.0%
合計	51	100.0%

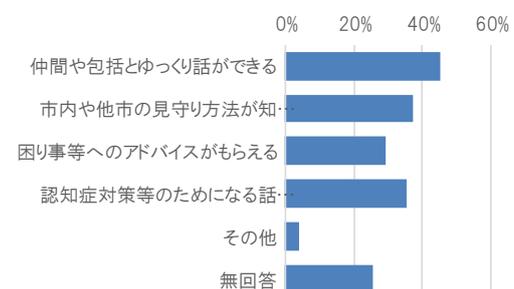


▼参加者の声_③地区連絡会・交流会に期待すること

- ◇ 最も多いのは「ゆっくり話ができる」こと
- ◇ ただし、毎回またはできるだけ地区連絡会に参加している人は、アドバイスやその他のためになる話も希望する傾向あり

■回答者数(N=51)

選択肢	回答数	構成比
仲間や包括とゆっくり話ができる	23	45.1%
市内や他市の見守り方法が知れる	19	37.3%
困り事等へのアドバイスがもらえる	15	29.4%
認知症対策等のためになる話が聞ける	18	35.3%
その他	2	3.9%
無回答	13	25.5%
合計	51	100.0%



▼情報提供の主な内容（当日使用したスライドの抜粋）

本日のプログラム

①ふれあい見守り推進員の活動	<ul style="list-style-type: none"> 皆さんにお願いしていること 見守りの対象ってどんな人？ 本日のポイント その1 	
②ふれあい見守り推進員の仲間	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークを支える人と機関 本日のポイント その2 	
③具体的な活動の仕方	<ul style="list-style-type: none"> こちらの動画をご覧ください（あれっと思うことがあった場合の対応） 実際にこんなことがありました 気をつけたいのはこんなこと（かるとの体験） 	

1頁

皆さんにお願いしていること①

□ 地域を見守る

普段の生活の中で周りの方をそれとなく見守り、「あれっ、おかしいな」「心配だな」と思うことがあったら地域包括支援センターに連絡をお願いします。

異変発見「あれっ、おかしいな」「心配だな」

「あれっ、おかしいな」「心配だな」という気持ちを得るため／見逃さないために、普段の生活の中で「見守り」を意識するようにしましょう。

連絡・相談「何かあったら包括へ」

異変に気付いたら「包括」へご一報ください。連絡がしやすくなるように、お住まいの地域を担当する「包括」の連絡先を携帯電話に登録しておきましょう。

ちょっと心配な方がいるのですが…
はい！こちら地域包括支援センターです！

3頁

見守りの対象ってどんな人？

□ 地域の見守り(お願い①)の対象

- 健康に不安を抱え自ら見守りを希望した方以外にも…

元気な人にもちょっとした悩みや困りごとがある

どんな人でも急に体調が悪くなることもある

「私は健康」と言っているが本当は健康じゃない人もいる

周りとあまり関わりがない人がいる(元気で心配)

- 普段の生活の中での小さな気付きから、まだ元気という方の緩やかな変化や気になる方を見つけることが目標です。
- 地域の方だから気付けることがあります。

6頁

本日のポイント その1

□ それぞれの見守りの位置づけと対象

75歳以上人口 約2.7万人

介護保険サービス 約9千人

見守りの機会やその他の様々なサービスもあり

約1割は健康不安あり

1対1の見守り

6~7割は元気な方

地域の見守り

高齢者の困りごとや体調の変化等を早期に発見し、各種の相談や支援サービスに素早くつなげることで、深刻な問題が発生するのを未然に防ぐ仕組みです

7頁

ネットワークを支える人と機関 その他

□ ふれあいサロン

- いつでも気軽に立ち寄れる「地域のたまり場」をつくり、地域住民が集まって交流する中で「自然に見守りができている」状態をつくることを目指しています。
- サロンには毎日のように来る方もおり、「最近少し元気がない」「いつもの時間に来ていない」といった見守りができています。

いつ立ち寄っても誰か話し相手がいる

体操や手芸、将棋など趣味の活動も楽しめる

スタッフがお茶等を煎れてくれる

食事会やイベントなども開催される

空き家・空き店舗・集会所など（ご自宅を開放しているサロンも）

12頁

本日のポイント その2

□ それぞれが無理なく続けられる見守りを！

ひとりでは無理

みんなで

わざわざ

ついでに

- 様々な仲間が、それぞれの場所や立場で見守りを行っています。
- “わざわざ”〇〇しなればと“ひとり”頑張り過ぎるのではなく、何かの“ついでに”できることを持ち寄って“みんなで”無理なく活動を続けられるようにしましょう！

13頁

こちらの動画をご覧ください



あれっと思うことがあった場合の対応

高齢者見守り支援ネットワーク

16頁

実際にこんなことがありました①

□ 支援サービスにつなげることができた！

気付き・連絡 日常生活の中で見守っていた方が、よるけたり、ちょっと元気がない様子があったので、地域包括支援センター（以下、包括）に連絡しました。

対応 連絡を受けて包括のスタッフが訪問すると、生活の中で色々困りごとが出ていることが分かりました。

その後 包括がお手伝いをして介護保険の申請を行い、無事に認定がおりたため、介護保険サービスを利用することができるようになりました。

介護保険についてご存じない方だったので、推進員さんからの連絡があって本当に良かったケースでした。

16頁

▼交流タイムの様子

- ① ゲストが読み上げる見守りのポイントを聞いて、これを表すイラストが描かれた札を取り合います。

「かるたなんて何年ぶりだろう」と笑っていた参加者の方々もあっという間に真剣な顔に変わっていました！



- ② 絵札を取ったら、どんな意図でその札を作成したのか解説をしていただきます。

馴染みのある“かるた”という形式で、楽しみながら見守りについて学べることを実感しました！



- ③ その後はテーブル毎に互いの活動について情報交換を行いました。

初対面の方も少なくありませんでしたが、“かるた”で打ち解けていたため、すぐに活発な話合いが行われました！



- ④ 会の最後には、各テーブルで一番多く札を取った方を表彰しました。

賞品はその日に使った“町田市みまもりかるた”です！



「かるたが欲しい」という声に
応えるため、貸出用の“みまもり
かるた”を用意しました！
“かるた”をやりたい方は 高齢福
祉課までご一報ください！

コラム 町田市の見守り活動 ～“町田市みまもりかるた”等～

“町田市みまもりかるた”の体験を始める前には、ゲストから町田市の見守り活動について簡単に紹介していただきました。

▼町田市の見守り活動

- ・一人暮らしの高齢者が過去 20 年間で 4 倍に増加している
 - ・今後、認知症の方が増えることが予想される
- ⇒だから地域全体での見守り・支え合いが大切！！

このような問題意識のもと、以下のような様々な取組が行われています。

- ◇ 事業者との連携（見守りネットワークまちだ）
- ◇ 町内会・自治会・老人クラブ等との連携（高齢者見守り支援ネットワーク）
- ◇ 個人のボランティアとの連携（あんしん連絡員・あんしん協力員）
- ◇ あんしんキーホルダー（外出先で倒れた等の場合に緊急連絡を行いやすくする仕組み）等々

▼“町田市みまもりかるた”

上のような取組を進める中で、地域の方が高齢者を見守る際のポイントを楽しみながら知るツールとして2020年に作成されたのが“町田市みまもりかるた”です。一般的なかるたと同じように、机の上に並べられた絵札の中から、読み上げられた読み札と対になるものを他の人よりも早く取り、一番多く絵札を取った人が“勝ち”となります。



み
まもって
見守られてる
いい関係

見守りの役立つ場面やポイントを表す内容になっています。



り
んじんの
安否を確認
ポスト見る

各札には以下のような解説がついています。

- 高齢になると、心身や環境の変化によって人との関わりが減り、孤立してしまう方も少なくありません。ご近所の方とちょっとした挨拶や声を掛け合うことが大事な見守りになります。
- 郵便ポストが一杯になっていたらちょっと心配ですね。高齢者の場合は、体調不良で玄関口まで取りに来られないこと、また郵便物を見ることを忘れてしまっていることも考えられます。

絵札をよく見ると同じ人物が登場するものがあります。これらを探して、隠されたストーリー／共通するテーマを見つけるといった楽しみ方もできるようになっています。

2-2-2 地域の仲間との交流会(地区連絡会等)の開催

(1) 取組の概要

見守り支援ネットワークでは、地域包括支援センター毎に地区連絡会、相談協力員連絡会等の会合を開催して、見守りの協力者である民生委員やふれあい見守り推進員との情報共有を図っています。

令和5年度は、特に以下のような狙いを持って、こうした会議に積極的に参加し、見守り活動の助けになるような情報提供に努めました。

- ◇ “地域をまたいだ”ふれあい見守り推進員交流会で取り上げた内容を、当日参加できなかった民生委員やふれあい見守り推進員の方々にも紹介する
- ◇ はつらつ・あんしん調査の結果のまとめから見える傾向を紹介し、これを材料に地域特性に応じた見守り方法を考える

日程があわず地区連絡会等に出席できなかった場合には、はつらつ・あんしん調査の結果をまとめた資料を配付して情報提供を行っています

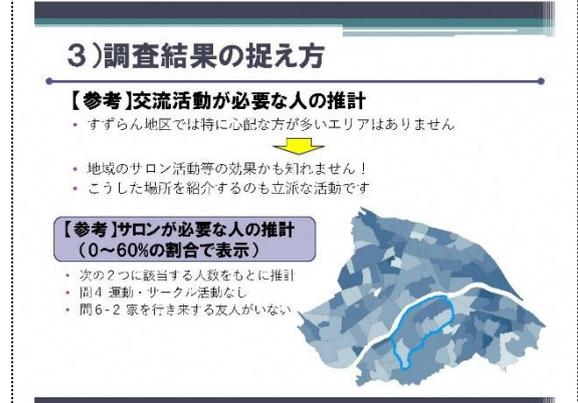
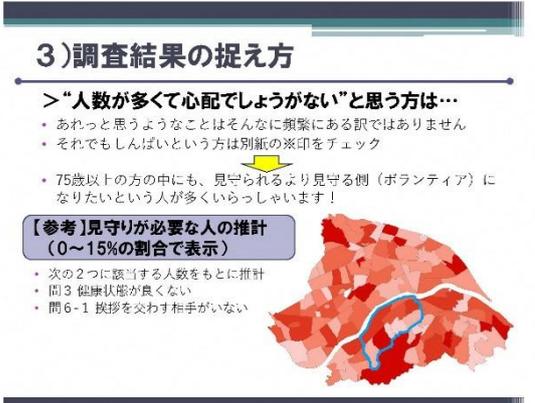
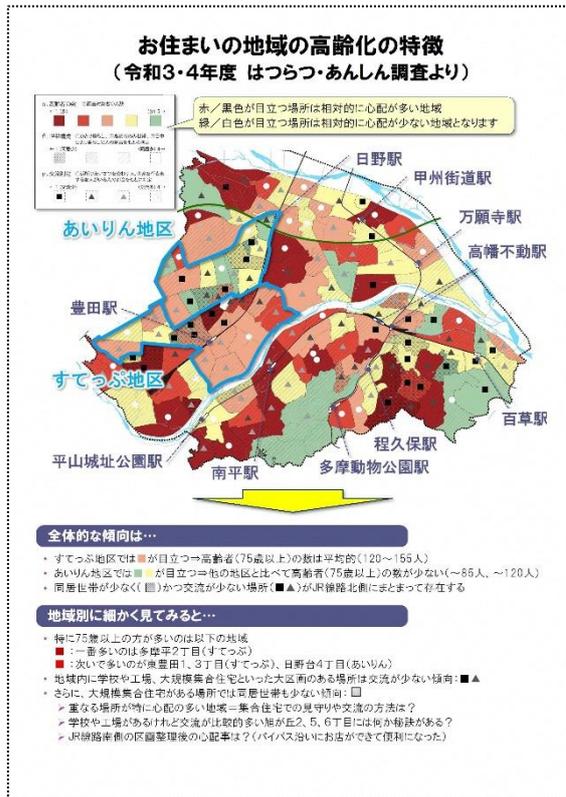
▼取組の内容

開催時期	取組項目	内容
2023年 9月	いきいきタウン地区 地区連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3・4年はつらつ・あんしん調査の結果に関する情報提供 ・地域特性に応じた見守り方法に関する情報提供 <p>※1 11月のあいりん地区地区連絡会では、“地域をまたいだ”ふれあい見守り推進員交流会の宣伝も実施</p> <p>※2 3月以降の地区連絡会では、“地域をまたいだ”ふれあい見守り推進員交流会の資料に則した説明内容のバージョンアップを実施</p> <p>※3 3月のすてっぴ・あいりん地区合同地区連絡会では、“町田市みまもりかるた”の体験も実施</p>
2023年 11月	あいりん地区 地区連絡会	
2024年 3月	もぐさ地区 地区連絡会	
	すてっぴ・あいりん地区 合同地区連絡会	
	すずらん地区 地区連絡会	
2か月に1 回程度定期的 に開催	神明地区 有志による会合 (せせらぎ地区内)	(37ページコラム参照)

(2) 取組の実績

連絡会の参加予定者や開催方法等に応じて説明内容を少しずつ変えています。各会では概ね以下のような内容で調査結果の捉え方や、これに対応した活動のアイデアを紹介しています。

▼地区連絡会で情報提供した内容（すずらん地区の場合）



コラム 神明地区の新たな取組

市役所も立地する神明地区では、地域の民生委員とふれあい見守り推進員の有志の方々が定期的集まって地域を歩いて回り、気になったことや感じたことを共有する活動を行っています。

令和4年度に開催されたせせらぎ地区 地区連絡会において、地区毎にテーブルを囲んで話し合いを行う中で、孤立死等を防ぐためにもっと踏み込んだ活動をしたいという声が出ました。これを発端に、有志の方々が集まって話し合いを重ねる中で、以下のような内容で活動がスタートしました。ここからさらに活動が広がって行きそうな様子もあり、今後がとても楽しみです。

▼実際の活動の様子

- ◇ 2か月に1回、時間を決めて集まり、3-5人程度のチームに分かれて地域を歩いて回る
- ◇ 地域を歩いた後は、会議室に集まってそれぞれが気になったことを発表し、全体で共有（直近では、地図上に気になったことを記録しています）
- ◇ 活動時は、地域の人に見守り活動をアピールし、防犯効果も期待できるベストを着用（メンバーが案を考え、全員の人気投票でデザインを決定しました）

一緒に歩くことで、他の人がどんなことを意識して歩いているのかが知れて参考になります

特にごみの日は多くの気付きが得られるのでお勧めです



2-3 今年度の取組の達成状況と次年度の対応案

各取組の実施状況を踏まえて令和5年度の成果と課題、今後の対応案を以下の通り整理しました。

▼成果・課題・対応案

成果	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度の検討部会の中心的な検討テーマであった“地域をまたいだ”ふれあい見守り推進員交流会（2-2-1）は、参加者から好評で、「説明が分かりやすかった」「かるたを利用して身近に感じた」「他の地域の話が聞けて良かった」等の声をもらうことができた。 “町田市みまもりかるた”の体験は、その後もふれあいサロン交流会（18ページ）や地区連絡会でも実施し、“相手を特定しない見守り”とそのやり方について、堅苦しくなることなくかつ広く情報発信することができた。 地区連絡会では、はつらつ・あんしん調査の結果のまとめについて情報提供を行い、民生委員やふれあい見守り推進員の方々に地域での見守りのやり方について考えていただくきっかけにすることができた。 令和4年度の地区連絡会をきっかけにして、神明地区では従来の内容から一步進んだ見守り活動が始まっており、これを支援することができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 既存の協力者に対する働きかけが中心となり、新しい協力者の獲得については令和4年度のような特別な取組を実施することができなかった。特にふれあい見守り推進員では登録者数が減少しており、新しい協力者の獲得に引き続き取り組む必要がある。 多くの地区連絡会でははつらつ・あんしん調査の結果のまとめについて情報提供を行いました。各包括の開催計画やスケジュール等の関係で、全てに参加できなかった。 “相手を特定しない見守り”について積極的に情報提供を行いました。また「今の活動のやり方で良いか不安」「このお宅を見守って欲しいという情報が欲しい」という方がいらっしゃる事が分かっている。
対応案	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に実施した新しい協力者の獲得、令和5年度に実施した既存の協力者に対する働きかけという両方の取組を、イベントという形に限定せず、継続的に実施していきます。 新しい協力者の獲得については、令和4年度にもアイデアを練った以下のような取組の実行を検討します。 <ul style="list-style-type: none"> ―特典グッズの提供 ―地域の活動団体の調査・情報提供 ―地縁団体等への協力依頼文書の作成 既存の協力者に対する働きかけについては、地区連絡会等で展開できるようなコンテンツの検討等を行います。 その他、もっとできる、もっと積極的に活動したいという方むけに、基本となる“相手を特定しない見守り”以外のやり方の検討や、こうした方への働きかけを行うことも想定します。

第3章「ネットワーク運営に関するその他の支援」

3-1 取組の概要

「個別の取組の実施支援」(第1章)や「より良いネットワークの構築支援」(第2章)は、参考となる情報を収集し、関係者の中で検討を行った上で、地域への働きかけ等の具体的な作業を行うという進め方をしています。

この作業の中心となるのが、次項で紹介する「見守り支援ネットワーク検討部会」です。

▼現在実施している取組

作戦本部的な機能を持つ検討部会の開催



「ニュースレター」による事業 PR の実施



他自治体の先進事例や国、都の動向の検討調査



3-2 各取組の実施状況

3-2-1 検討部会の開催

(1) 取組の概要

「見守り支援ネットワーク検討部会」は、見守り支援ネットワークの作戦本部的な機能を持つ場として2014（平成26）年度に立ち上げた会議です。メンバーは地域包括支援センターと高齢福祉課で構成し、見守り支援ネットワークの活動方針を検討するほか、各地域の取組状況の共有などを行っています。

令和5年度の検討部会は、「より良いネットワークの構築支援」（第2章）の中で取り組んでいる「“地域をまたいだ”ふれあい見守り推進員交流会」（2-2-1）等の企画を中心に、見守りメール配信（1-2-4）の内容や、交流会の結果を踏まえた令和6年度以降の取組について検討を行っています。

▼実施スケジュール

開催時期	取組項目	主な内容
2023年 6月29日	2023年度第1回見守り支援 ネットワーク検討部会	<ul style="list-style-type: none">令和5年度の取組方針について推進員の活動を支援する研修会の開催についてメール配信等の地域への情報発信の内容について
10月12日	2023年度第2回見守り支援 ネットワーク検討部会	<ul style="list-style-type: none">はつらつ・あんしん調査の実施状況について見守りメールの配信状況について推進員の活動を支援する研修会の開催について
2024年 1月24日	2023年度第3回見守り支援 ネットワーク検討部会	<ul style="list-style-type: none">ふれあい見守り推進員交流会の振り返り令和6年度以降の取組について

(2) 取組の実績

令和5年度は、計3回の検討部会を開催し、以下のような検討を行っています。

▼2023年度第1回見守り支援ネットワーク検討部会

開催日時	2023（令和5）年6月29日（木）9：30-11：30
開催場所	日野市役所 101 会議室
参加者	<包括支援センター>：9 包括の相談員 計 10 名 <その他>：日野市社会福祉協議会 計 2 名 <事務局>：日野市高齢福祉課、委託事業者 計 5 名
プログラム	0. 開会 【報告事項】 1. 高齢福祉課の体制について 2. 令和5年度の取組方針について 【検討事項】 1. 推進員の活動を支援する研修会の開催について 2. メール配信等の地域への情報発信の内容について 3. その他
議事概要	1. はつらつ・あんしん調査のまとめ資料の配付スケジュールを説明した。あわせて、暫定版の資料を配付し、民生委員のお名前や担当エリア等に誤りがないか確認してもらうよう依頼した。 2. 前年度に新しい協力者の獲得等を狙った“説明会”を開催したことを踏まえて、今年度は既に推進員として登録しているがうまく活動ができていないといった方をフォローする“研修会（仮）”を開催するという方針を確認した。 3. “研修会”の開催に向けて、日程や会場、実施内容について意見交換を行った。 4. 見守りメール配信の計画を確認し、熱中症予防に関する情報発信も行うことを決定した。

▼2023 年度第 2 回見守り支援ネットワーク検討部会

開催日時	2023（令和5）年 10 月 12 日（木） 9：30～11：30
開催場所	日野市役所 101 会議室
参加者	<包括支援センター>：9 包括の相談員 計 10 名 <その他>：日野市社会福祉協議会 計 2 名 <事務局>：日野市高齢福祉課、委託事業者 計 6 名
プログラム	0. 開会 【報告事項】 1. はつらつ・あんしん調査の実施状況について 2. 見守りメールの配信状況について 【検討事項】 1. 推進員の活動を支援する研修会の開催について 2. その他
議事概要	1. 研修会（※最終的には“交流会”）を開催する狙いを以下の通り確認した。 ー活動内容が分からない推進員さんに見守りの基本的な考え方を改めて紹介する ー特に、実際にあった出来事等を通じて見守りの方法や推進員さんに期待することを説明する 2. 研修会（同上）により多くのふれあい見守り推進員さんに参加してもらうため、開催案内等を以下の通り行うことを確認した。 ー包括が欠く推進員さんへ個別に声かけと出欠の確認を行う ーふれあい見守り推進員さんが参加してみたいかなるようなお土産を用意する 3. 話合いが苦手な方も無理なく交流できるよう、以下の通り進行することを確認した。 ー“みまもりかるた”の体験をメインプログラムとし、十分な時間を確保する ー参加者を緩やかにグループ分けする 4. その他、上記の検討の手がかりとして、参加者に伝えたい見守りの方法や、各地区の地区連絡会の開催状況（実施内容や参加者数等）を確認した。

▼2023年度第3回見守り支援ネットワーク検討部会

開催日時	2024（令和6）年2月13日（火）14：30-16：30
開催場所	日野市役所職員休憩室
参加者	<包括支援センター>：9 包括の相談員 計 13 名 <その他>：日野市社会福祉協議会 計 1 名 <事務局>：日野市高齢福祉課、委託事業者 計 5 名
プログラム	0. 開会 【報告事項】 1. メール配信の配信計画等 2. ふれあい見守り推進員交流会の振り返り 3. 令和6年度はつらつ・あんしん調査について 【検討事項】 1. 次年度以降の取組について 2. その他
議事概要	1. 交流会の良かった点や課題について確認した。 2. 現在の各地区の協力者の活動状況を共有し、特に1対1の見守りについて以下のような難しさがあることを確認した。 －手を挙げてくれるふれあい見守り推進員がいない （熱心な方と普段の生活の中でという方がいて、後者の方には強制できない） －熱心な方は必要以上にお手伝い等をしようと思ってしまうことがある －レポートを負担に感じる方等はシステムに載せない方が良い場合もある －対象を特定しない見守りではスタンプが押せない 3. 次年度以降の取組について検討する中で、包括と事務局でイメージを共有する必要性がある等の指摘が出され、今後の検討内容や会議の進め方を再考して、次年度に改めて提案することになった。

3-2-2 事業PRの実施

(1) 取組の概要

見守り支援ネットワークは、社会的にも孤立しがちな高齢者を地域での支えあいを通じ見守り、支援することによって「安心していきいきと暮らせるまち」づくりを目指すものです。こうした支えあいには市民の理解と協力が不可欠であることから、事業開始当初から「ニュースレター」を作成して、現在の取組内容の報告や市内外の活動の紹介などを行い、見守り支援活動に関する理解の促進と普及啓発を図っています。

令和5年度は、この「ニュースレター」を2号作成しました。

▼「ニュースレター」の主な配布場所

- ◇ 市役所の窓口、地域包括支援センター
- ◇ 地域のスーパーや薬局等の協力事業所

▼事業PRの実施内容

発行／開催時期	取組項目	内容
2024 年新春号	ニュースレター第 42 号の作成	・“地域をまたいだ”ふれあい見守り推進員交流会を開催しました！
	ニュースレター第 43 号の作成	・日頃の見守りの役に立つ『見守り関連情報』をメールで配信しています！

(2) 取組の実績

ニュースレターでは、令和5年度に実施した説明会やはつらつ・あんしん調査の分析結果の紹介を中心に、ネットワークの協力者の活動にも触れるような構成としています。

▼ニュースレター第42号の概要

発行時期	2024年新春号①
内 容	特集「“地域をまたいだ” ふれあい見守り推進員交流会を開催しました！」 ＜表面／1ページ＞ ・リード文 ・交流会の開催概要 ＜内面／2・3ページ＞ ・交流会の「交流タイム」の内容 ＜裏面／4ページ＞ ・交流会の「情報提供」の内容 ～見守りの方法や活動のヒント

▼ニュースレター第43号の概要

発行時期	2024年新春号②
内 容	特集「日頃の見守りの役に立つ『見守り関連情報』をメールで配信しています！」 ＜表面／1ページ＞ ・リード文 ・メール配信の登録方法 ＜内面／2・3ページ＞ ・メール配信でお知らせする『見守り関連情報』の内容 ～最近発信した2つのメールの紹介 ＜裏面／4ページ＞ ・メール配信でお知らせするもう1つの内容 ～行方不明者情報

▼ニュースレター第42号の内容

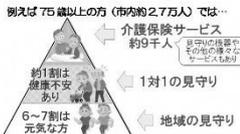
情報提供 ～見守りの方法や活動のヒント

交流に入る前に日野市高齢福祉課から以下の3つの情報提供を行いました。

ふれあい見守り推進員の活動について

ふれあい見守り推進員さんの「特定の高齢者を見守る(1対1の見守り)」「地域を見守る」活動の対象イメージは右図の通りです。

普段の生活の中での小さな気付きからまだ元気という方の緩やかな変化や気になる方を見つけてあげることが目標です。地域の方だから気付けることがあります！



ふれあい見守り推進員の仲間について

推進員の皆さんと一緒にネットワークを支える人や機関として、「団志、民生委員」「協力事業所」「公共公益機関等」「ふれあいサロン」を紹介しました。

様々な仲間が、それぞれの場所や立場で見守りを行っています。わざわざ「〇〇しないかば」とひとりで頑張り過ぎるのではなく、何かのついでにできることを持ち寄り、みんなで無理なく活動を続けられるようにしましょう！

具体的な活動のやり方について

動画(右のQRコードから視聴できます)を使って「あれっと思うことがあった場合の対応」をお知らせした後、実際にあった以下の活動例を紹介しました。

- 口角から気が付いた方**
 - よろける姿や、ちょっと元気がない様子を見て包括に連絡しました
 - 介護保険サービスの利用につながりました！
- ご近所でのまにまに話をする方**
 - 話をしているとアレっと思うことが増えたので包括に相談しました
 - 市内のお医者さんを紹介して治療を受けることになりました！
- 外から様子を見ていたお宅**
 - ポストに新聞がたまっていたので心配になり包括に連絡しました
 - 包括が本人へ連絡したところご家族のところで一緒に暮らしていることが分かりました！
- 押寄後すぐ帰って出かける近所の方**
 - 話しかけると「力がない」
 - 懇話に協力する旨を伝えながら、手元を探してみるよう声をかけました。
 - ポケットからカギが見つかりました！(探しあぐねて済んで良かったです)

地域包括支援センターでは、「誰から連絡があった」とは言わずに気になる方のお宅を訪問して状況を把握し、介護保険の相談や医療の相談等を行うことができます！

日野市高齢福祉課在宅支援係(高齢者見守り支援ネットワーク担当)
 電話：042-514-8496(直通) / FAX：042-583-4198
 E-mail：kourei_zaitaku@city.ninohara.lg.jp

(※) このお知らせは再生紙を使用しています。このお知らせを廃棄するときは、資源ゴミとして出してください。

日野市高齢者見守り支援ネットワーク ニュースレター 第42号 2024 年新春号①

地域をまたいだ ふれあい見守り推進員 交流会を開催しました！



ふれあい見守り推進員の方々に以下のような機会を提供することを目指して、「地域をまたいだ」交流会を開催しました。

- > 「みまもりかるた」の体験等を通じてふれあい見守り推進員の役割や見守り方法を楽しく・分かりやすく伝える
- > 他の地域のふれあい見守り推進員と交流や情報交換ができる

交流会に参加した50名超の推進員さんからは高評価をいただくことができました。「みまもりかるた」って何?」と思った方、「最近、活動に悩んでいる」という方も、是非以下の内容をご覧ください。

交流会の開催概要

12月13日(水)、21日(木)に以下の内容で開催しました。

①情報提供	②交流タイム(前半)	③交流タイム(後半)
冒頭で、交流会の主旨説明とふれあい見守り推進員の活動に役立つ情報提供を行いました	町田市からお呼びしたゲストの方の進行で、「みまもりかるた」の体験等を行いました	包括の職員の方々の進行で、参加者同士がそれぞれの地域や活動に関する情報交換を行いました

▶ 詳細は背面参照

▶ 詳細は内面の見聞きを参照

交流タイムの内容

参加者の方から特に好評だった「みまもりかるた」の内容を中心に、当日の様子をご紹介します。

今回のゲストは…

町田市の高齢者支援センター(二地域包括支援センター)から塚坂さんと小島さんの2人がゲストに来ていただきました。このうち塚坂さんは、かるたの分かりやすく楽しい絵巻(下図参照)を描かれた方で、「みまもりかるた」の生みの親の一人です。



町田市の見守り活動の紹介

- ・一人暮らしの高齢者が過去20年間で4倍に増加している
- ・今後、認知症の方が増えることが予想される
- ・コロナ禍で心身が弱ったり家から出なくなったりする方=見守りが必要の方が増えている
- だから地域全体で見守り・支え合いが大切！！

このような課題意識のもと、以下のような様々な取組が行われていきます。
 ・事業者との連携(見守りネットワークまちだ)
 ・町内会・自治会・老人クラブ等との連携(高齢者見守り支援ネットワーク)
 ・個人のボランティアとの連携(あんしん連絡員・あんしん協力員)
 ・あんしんキーホルダー(外出先で困れた等の場合に緊急連絡を行いやすくする仕組み)等々
 そんな町田市で、地域の方が高齢者を見守る際のポイントを楽しみながら知っていただけるように、2020年に作成したのが「みまもりかるた」です。

参加者の声

▼交流会の評価

- ・普段の連絡会には「あまり参加していない」という方や「初めて参加した」という方も多く参加いただきました
- ・約9割の方がイベントに参加して良かった(「そう思う」「ややそう思う」と回答しています)



▼来て良かったと思うプログラム

- ・「みまもりかるた」が特に好評で、「みまもりかるた」がと良かった」「かるたが欲しい(知識でやりたい)」というコメントがありました
- ・ゲストから聞いた町田市の取組の紹介も好評でした
- ・アンケートの自由回答欄では、「お会いできたことが何より」「参加者という形で良かった」「他地域の方の見守りの工夫が聞けて良かった」など参加者同士の交流について触れたコメントも多くありました

「かるたが欲しい」という声に
 応えるため、貸出用の「みまもりかるた」を用意しました！
 「かるた」をやってみたい方は、高齢福祉課まで一報ください！

今後の地区連絡会等の内容として「仲間や包括とゆくり話ができる」ことを求める声が多かったことを踏まえて、今後こうした機会を増やしていきたいと考えています！

「みまもりかるた」

一版的なかるたと同じように、机の上に並べられた絵札の中から、読み上げられた読み札と刻になるものを他の人よりも早く取り、一番多く絵札を取った人が「勝ち」となります。



見守りの役立つ場面やポイントを表す内容になっています。

- 各札にはそれぞれ以下のような解説がついています。
- ・高齢になると、心身や環境の変化によって人との関わりが薄り、孤立してしまう方も少なくありません。ご近所の方とちょっとした挨拶や声を掛け合うことが人間的な見守りになります。
- ・郵便ポストが一杯になっていたらちょっと心配ですね。高齢者の場合は、外袋不良で玄関口まで取りに来られないこと、また郵便物を見ることを忘れてしまっていることも考えられます。

絵札をよく見ると同じ人物が登場するものがあります。これらを探して、隠されたストーリー/共通するテーマを見つけるという楽しみ方もできるようになっています。

「みまもりかるた」の体験と参加者同士の交流

馴染みのある「かるた」という形式で、楽しみながら見守りについて学べることを実現しました！



各テーブルで一冊多く絵札を取った方には、賞品としてかるた一式を贈呈しました！

初対面という方も少なくありませんでしたが「かるた」で打ち解けることができたため、その後の情報交換も大変盛り上がりました！

▼ニュースレター第43号の内容

もう一つのお知らせ ～行方不明者情報

「日野市行方不明者情報メール」では、見守りのポイント等をお知らせしているほか、認知症による高齢者の徘徊が発生した場合に、日野市から行方不明者情報を発信して該当者の早期発見・保護を図っています。

「日野市行方不明者情報メール」の仕組み

認知症により徘徊のおそれのある高齢者の情報を、本人やご家族の同意を経て事前に市に登録する「認知症徘徊高齢者 SOS ネットワーク」があります。登録者の徘徊が発生した場合、警察（110番による捜索願い）等を通じて日野市に通報が入ります。次に日野市からメール登録者の皆さまに手がかりとなる情報をお知らせし、情報提供（土日祝日の場合は警察へ）をお願いします。

実際にメール登録者の方から「外出先で似たような方を見かけた」という連絡が入り、無事に保護することができたことが多数あります。



認知症のご家族等が単独でこの仕組みに登録したいという方は、お住まいの地域を担当する地域包括支援センターまでお問合せください。

＜メール登録者に届く徘徊情報＞

行方不明になった方を発見する手がかりとなる以下の情報をお知らせしています。

- ・発生日時、なくなった場所
- ・年齢、性別、身長、体重、髪型
- ・服装上、眼鏡下、靴、靴シール[※]、紙傘・帽子等、その他の所持品

無事に発見された後には、その旨もメールで報告します。

※靴シールとは…＜参考＞

この仕組みに登録している高齢者の方々は、普段履いている靴に右の写のようなシールを貼り付けていただいています。

このシールは、この方の命元を保障する情報であるとともに、見守りの目を必要とするサインにもなっていますので、このシールを貼った方があっていそうな時は、注意して見ていただいたり、優しく声をかけていただいたりする等の、気にかけてをお願いします。



日野市高齢福祉課在宅支援係(高齢者見守り支援ネットワーク担当)

電話：042-514-8496(直通) / FAX：042-583-4198

E-mail：kourei_zaitaku@city.hino.lg.jp

(※) このお知らせは再生紙を使用しています。このお知らせを廃棄するときは、資源ゴミとして出してください。

日野市高齢者見守り支援ネットワーク

ニュースレター 第43号 2024年新番号2

日頃の見守りの役に立つ

『見守り関連情報』をEメールで配信しています！



見守り支援ネットワークでは、高齢者等の徘徊が発生した場合、日野市から情報提供を行う「日野市行方不明者情報メール」という仕組みがあり、見守りのポイント等についてもお知らせしています。

令和5年度は以下の合計6件のメールを配信しました。掲載内容に関する詳しい情報を内面に記載していますので、こうした情報を受け取りたいと思った方は、是非下の囲みの説明を参考に登録をお願いします！

- 6/30号 “あれっ”と思った時の対応(見守りワンポイントアドバイス②)
- 8月号 熱中症にご注意ください
- 9/5号 行方不明者を見つける手がかり(見守りワンポイントアドバイス③)
- 9/19号 心配な方への声のかけ方(見守りワンポイントアドバイス④)
- 11/15号 高齢者の詐欺被害を防ぐ見守り(見守りワンポイントアドバイス⑤)
- 2/16号 ヒートショックにご注意ください

メール配信への登録方法

- ① 右のQRコードを読み取ります
- ② 配信登録フォームが表示されたら、情報を受け取るメールアドレスを入力して「確認」を押します
- ③ 日野市から登録完了をお知らせするメールが届いたら登録完了です



＜注意事項＞

- ※ 登録は無料ですが、メール受信にかかる通信料(ノックアウト料金)は自己負担です。
- ※ 情報漏洩を防止するセキュリティ水準維持のため、ご利用できない端末があります。
- ※ 登録いただいた情報はこのメール配信以外の目的で併用しません。
- ※ QRコードからの登録ができない方は、日野市HPで「SOSネットワーク」を検索し、詳細な登録方法をご確認ください。

メールでお知らせした『見守り関連情報』の内容

最近発信した2つのメールをご紹介します

高齢者の見守りを行う際のポイントをご紹介します

具体的なやり方や関連する情報を分かりやすくまとめた動画を作成して情報発信を行いました。動画を見られない方向けに文字だけのメールも配信しています。

件名【見守り関連情報】2023.11.15号～見守りワンポイントアドバイス⑤～

市内で特殊詐欺被害が1年間に1億円超発生！

今回は、ご近所や外出先で意識しておきたいポイントをご紹介します！怪しい電話の見分け方は知っているという方も是非以下の動画をご覧ください。

▼高齢者の詐欺被害を防ぐ見守りのポイント(画像をクリックすると動画が再生されます)

1.オレオレ詐欺の被害を防ぐポイント

年齢や性別、服装で“受け子”かどうかを見分けるのは困難です



動画は日野市の公式 YouTube チャンネルで公開しています
右のQRコードからまたは「日野市見守り動画」で検索してご視聴ください

特殊詐欺の手口と対策をもっと詳しく知りたいという方は、警察のこちらのWEBサイトをご覧ください。

- ★他にアドバイスが欲しいテーマがありましたらこちらまで(メール配信に関するご意見も歓迎です)
- ⇒こちら(WEBフォーム)が覗けます
- ★高齢者見守りでは見守り活動の取り組みを募集しています
- ⇒高齢者見守り支援ネットワークのご案内(日野市公式HP)

日野市役所 健康福祉部 高齢福祉課
在宅支援係 見守り支援ネットワーク 専任担当
TEL：042-514-8496 Mail：kourei_zaitaku@city.hino.lg.jp

★本メールの配信停止はこちら

「熱中症」や「ヒートショック」等の注意の呼びかけをおこなう号

見守りの参考にするだけでなく、心配な方に直接注意喚起することもできるように、動画ではなく印刷・配布ができるチラシをつけて情報発信を行いました。

件名【見守り関連情報】2024.02.16号～ヒートショックにご注意～

ヒートショックにご注意

＝ヒートショックとは？

暖かい部屋から寒い部屋への移動など、急な温度変化が体に与えるショックのことで、失神や心筋梗塞、脳梗塞などを引き起こすこともあります。冷え込みやすい浴室、洗面室、トイレなどの場所では起きやすく、入浴中の失神等は命取りになるため特に注意が必要です。

＝安全に入浴するためのポイント

- ①浴室：入浴前に空を暖める、かけ湯を複数回行う
- ②血圧：こんなことは避ける(×食前・飲酒・薬の投薬後すぐの入浴、×熱い風呂や長風呂、×湯船から急に立ち上がる)
- ③見守り：同居者への入浴前の声かけ、周りに入浴時等をお知らせ

【出典①】 政府広報オンライン：https://www.gov-online.go.jp/useful/article/202111/1.html

【出典②】 STOP！ヒートショック STATION：https://heatshock.jp/

【参考】 ヒートショック予報：https://tenki.jp/heatshock/3/16/4410/1321/

上記の内容をまとめたチラシを作成しています。潤りの内に紹介する際に是非ご活用ください。https://r18.smp.ne.jp/file/COhbd7Djb1320Msd23HmY4K/f003526500

＝お知らせ＝

- ★見守り活動の取り組みを募集しています(見守り活動の取り組みを募集しています)
- ⇒WEBフォーム：https://forms.gle/SGkY4Xc6VTEPaek6
- ⇒FAX：042-583-4198

日野市役所 健康福祉部 高齢福祉課
在宅支援係

★見守り関連情報の配信停止はこちら
https://r18.smp.ne.jp/0/Pq/20468363/hJZdDH7

いいなと思った方は、是非登録をお願いします！(登録方法は表面を参照ください)

3-2-3 先進事例の検討調査

(1) 取組の概要

見守り支援ネットワークでは、既存の取組の改善や新しい取組の検討を図るにあたって、参考となる他自治体の先進事例や国、都の動向を調査しています。

令和5年度は、“地域をまたいだ”ふれあい見守り推進員交流会（2-2-1）の開催に先立って、会の中で参加者に伝えたい事例や情報、その提供者となる講師役を選定するために事例の検討調査を行いました。いくつかの事例については、令和4年度に把握した情報の追加調査となっています。

▼先進事例の検討調査の概要

実施時期	調査項目	調査内容
2023年 4月～9月	ふれあい見守り推進員（交流会の参加者）に伝えたい他市の活動事例等	・対象を特定しない見守りの方法を伝える題材となる具体の活動例や、見守りのポイント、活動に役立つその他の情報等を調査



(2) 取組の実績

ふれあい見守り推進員交流会の主要ターゲットの1つである「未マッチングでどのように活動すれば良いか迷っているような人」が、「こんな風に活動すれば良いんだ」というヒントを得られるような情報を提供することを目指して、候補となる事例や講師役の情報を以下の通り収集しました。

▼全員がもれなく参加できる講演会につながる事例

- ◇ 活動の参考になる話や質問に対するアドバイスを聞けるような、活発に活動している地域の事例を収集

想定する講師役	主な内容
大田区地域包括支援センター 入新井	おおた高齢者見守りネットワーク（みま～も）、活動を支援した地域の人の活動例
足立区地域包括支援センター	わがまちの孤立ゼロプロジェクト、「絆のあんしん協力員」の活動等
多摩市中部地域包括支援センター	多摩ニュータウンにおける見守り事例、「高齢者見守り相談窓口」に寄せられる相談事例等

▼多くの人が楽しく参加できるグループワークにつながる事例

- ◇ 講演よりも楽しく参加してもらえワークを通じて見守りのやり方を学ぶ／参加者同士で交流できるような取組を収集

想定する講師役	主な内容
町田市「鶴川第二高齢者支援センター（仮）	・近所の憩意の方、かかりつけ病院や持病といった詳細な情報を登録した方に、民生委員による訪問や誕生会等の行事の案内、緊急通報システムの利用申込み等のサービスを提供する事例

▼自分の活動をレベルアップしたい人向けの情報発信につながる事例

- ◇ 見守り活動をする上で知っておいた方が役に立つ個人情報の取扱い等の情報をテーマ別に整理

想定する講師役	主な内容
プライバシーマーク推進センター	見守り活動における個人情報の取扱い
日野消防署	応急手当講習等の緊急時の対応
日野市医師会等	高齢者の在宅生活に関わる医療や介護

3-3 今年度の取組の達成状況と次年度の対応案

各取組の実施状況を踏まえて令和5年度の成果と課題、今後の対応案を以下の通り整理しました。

▼成果・課題・対応案

<p>成果</p>	<p>《検討部会の開催》</p> <ul style="list-style-type: none"> 計3回の検討部会を開催した。 令和5年度の検討部会の中心的な検討テーマであった“地域をまたいだ”ふれあい見守り推進員交流会(2-2-1)は、参加者から好評で、ふれあい見守り推進員の生の声を聞く良い機会になった。 <p>《事業PRの実施》</p> <ul style="list-style-type: none"> ニュースレター2号と、見守りメール配信(1-2-4)6通を通じて、市民や既存の協力者に対して、“見守り”に関する情報発信を行った。 見守りメール配信(1-2-4)では、高齢者の体調トラブルに関する注意喚起も新たに実施した。 <p>《先進事例の検討調査》</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査結果をもとに“地域をまたいだ”ふれあい見守り推進員交流会のゲストを決定し、参加者から好評を得ることができた。
<p>課題</p>	<p>《検討部会の開催》</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は新しい協力者の獲得、令和5年度は既存の協力者のフォローを狙ったイベントを開催しましたが、その次の展開のイメージをうまく描くことができなかった。 今後の取組について、部会委員と事務局が一緒につくりあげていくことができるような会議の進め方に改善していくことが課題となっている。 <p>《事業PRの実施》</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度に実施した内容を報告する媒体としてニュースレターを活用した結果、年度末に2号まとめて発行する形となり、ニュースレターとしては情報発信の間隔が大きく空いた。 <p>《先進事例の検討調査》</p> <ul style="list-style-type: none"> 町田市の事例については令和4年度にも一度調査を行ったものであり、令和6年度以降の取組に参考となるような新しい事例を収集することはできなかった。
<p>対応案</p>	<p>《検討部会の開催》</p> <ul style="list-style-type: none"> 検討部会を通じて地域包括支援センターとの密な情報共有や地域の活動状況を反映した取組内容の検討を進めます。 具体的には、以下のような方針で見守り支援ネットワークの次の展開について検討することを想定します。 <ul style="list-style-type: none"> －検討のはじめに見守り事業の前提となる考え方を共有する －課題解決を一緒に考えていけるワークショップ形式等で実施する <p>《事業PRの実施》</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果の報告に拘らず、年度の途中でニュースレターを1号発行します。 具体的には、「ふれあいサロンの紹介」等の特集テーマを設けて、見守りメール配信と連動した発行計画を検討します。 <p>《先進事例の検討調査》</p> <ul style="list-style-type: none"> 見守り事業の次の展開を考える手がかりとして、現在の日野市の見守り事業との類似性に拘らず様々なパターンの見守り活動の事例を収集します。

2023（令和5）年度
日野市高齢者見守り支援ネットワーク事業報告書

発行 2024年4月

編集 日野市健康福祉部高齢福祉課

〒191-8686

東京都日野市神明 1-12-1

電話 042（514）8496

<http://www.city.hino.lg.jp/>
